



F-01K

arrows NX

取扱説明書 '17.11

はじめに

「F-01K」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

「クイックスタートガイド」(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）(本端末に搭載)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

〈操作手順〉 ホーム画面で  → [取扱説明書]

初回起動時は、画面の指示に従って「取扱説明書」アプリをダウンロードする必要があります。

「取扱説明書」アプリを削除した場合には、PlayストアでGoogle Playのサイトにアクセスして再度インストールすることができます。

〈操作手順〉 ホーム画面で [Play ストア] → 「取扱説明書 F-01K」を検索して「取扱説明書」アプリを選択→ [インストール]

「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

〈パソコンから〉 <https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/f01k/index.html>

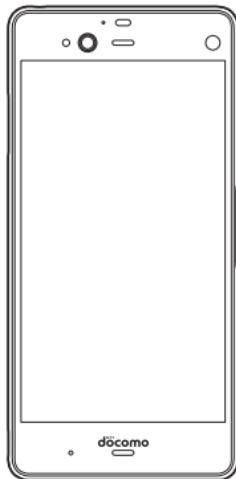
※最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた

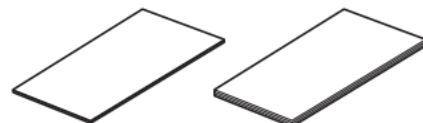
- ・本書においては、「F-01K」を「本端末」と表記しています。
- ・本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ・本書は端末色が「Blue Black」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」、きせかえが「Blue Black」の場合で説明しています。
- ・本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作、または虹彩認証を行う操作を表しています。
- ・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ・本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

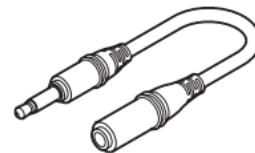
■ F-01K本体



■ クイックスタートガイド ご利用にあたっての注意事項



■ テレビアンテナケーブル F01



- 本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

目 次

■本体付属品	1
■本端末のご利用について	5
■安全上のご注意（必ずお守りください）	7
■取り扱い上のご注意	16
■防水／防塵、耐衝撃性能	23

ご使用前の確認と設定 28

各部の名称と機能	28
ドコモnanoUIMカード	30
microSDカード	31
充電	33
電源を入れる／切る	35
基本操作	35
文字入力	39
初期設定	45
お知らせLED	46
画面表示／アイコン	47
タスク管理	53
分割画面	54
ホームアプリの切り替えかた	55

docomo LIVE UX 56

ホーム画面	56
アブリ一覧画面	58
ホーム画面のバックアップと復元	63
マイマガジン	63
ホームアプリの情報	64

電話 65

電話／ビデオコールをかける	65
電話／ビデオコールを受ける	67
通話中の操作	68
発着信履歴	70
伝言メモ	71
通話設定	71
電話帳	75

メール／ウェブブラウザ 78

ドコモメール	78
メッセージ（SMS）	78
NX!メール	80
Gmail	84
緊急速報「エリアメール」	84
Chrome	86

アブリ 89

dメニュー	89
dマーケット	89
Playストア	89
おサイフケータイ	91
テレビ（フルセグ／ワンセグ）	95
カメラ	102
アルバム-Scene	110
HF Player	111
位置情報・GPS	113
スケジュール	115
時計	116

電卓	117
検索	118
ドコモデータコピー	119

本体設定 122

設定メニュー	122
Wi-Fi	123
データ使用量	127
機内モード	128
テザリング	129
VPN（仮想プライベートネットワーク）	131
モバイルネットワーク	132
ネットワーク設定のリセット	133
壁紙・画面	134
通知	136
音	137
アプリ	139
ストレージ	140
電池	141
メモリ	141
ユーザー	142
動作	143
ドコモのサービス／クラウド	143
セキュリティ	144
アカウント	155
Google	156
言語と入力	157
バックアップとリセット	158
便利機能	159
日付と時刻	163
ユーザー補助	163

端末情報	164
------	-----

ファイル管理 165

本体（内部ストレージ）	165
microSDカード（外部ストレージ）	165
ファイル操作	166

データ通信 167

Bluetooth®通信	167
NFC通信	170

外部機器接続 172

パソコンとの接続	172
プリンタとの接続	172
DLNA対応機器との接続	174
その他の機器との接続	176

海外利用 177

国際ローミング（WORLD WING）の概要	177
海外で利用可能なサービス	177
海外でご利用になる前に	177
滞在先で電話をかける／受ける	180
国際ローミングの設定	181
帰国後の確認	182

付録／索引 183

トラブルシューティング (FAQ)	183
あんしん遠隔サポート	190
保証とアフターサービス	190
ソフトウェアアップデート	193
主な仕様	196
携帯電話機の比吸収率 (SAR)	200
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones	201
輸出管理規制	206
知的財産権	207
SIMロック解除	210
索引	211

本端末のご利用について

- ・本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- ・本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることができますので、ご了承ください。
- ・本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえないかもしれません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- ・本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- ・本端末はユーザーやゲストが利用できる機能に対応しているため、ユーザーを切り替えた際にサービスやアプリによっては同一のお客様として取り扱われる場合があります。本機能の利用により発生したお客様、または第三者の損害やトラブルに関して、当社としては責任を負いかねます。→P142
- ・お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- ・本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- ・本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用になります。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- ・公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- ・本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ・お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。

- ・本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P193
 - ・端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
 - ・ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・microSDカードや本体メモリの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
 - ・アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
 - ・Google Inc. が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Google™および各提供元が定める各利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社では一切責任を負いかねます。
 - ・利用規約などが表示された場合は、画面に従って操作してください。
 - ・万が一本端末を紛失した場合は、Gmail™、Google PlayなどのGoogleサービスや、SNSなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
 - ・紛失に備えセキュリティ解除方法を設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→P147
- ・spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
 - ・テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
 - ・ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) 」を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) 」を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) 」を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないと示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないと示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないと示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行してくださいこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末・アダプタ、ドコモnanoUIMカード、テレビアンテナケーブルの取り扱い（共通）	8
本端末の取り扱い	10
アダプタの取り扱い	12
ドコモnanoUIMカードの取り扱い	14
医用電気機器近くでの取り扱い	15
材質一覧	15

◆本端末、アダプタ、ドコモnanoUIMカード、テレビアンテナケーブルの取り扱い (共通)

⚠ 危険

 禁止
高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 禁止
電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 禁止
砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P23「防水／防塵、耐衝撃性能」

 禁止
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P23「防水／防塵、耐衝撃性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意いただきたい例

- ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

水濡れ禁止 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P23「防水／防塵、耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P23「防水／防塵、耐衝撃性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️警告

 禁止 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 禁止 充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 禁止 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

 指示 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 指示 ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く。
 - ・本端末の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️注意

 禁止 破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

 禁止 ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブルータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

 禁止 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P23「防水／防塵、耐衝撃性能」

 禁止 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。

 禁止 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示 本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触るとお客様の体质や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどの原因となります。

◆本端末の取り扱い



禁止 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止 釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示 本端末内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



警告 ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止 自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止 点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止 本端末内のドコモnanoUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止 カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内で使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内で使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触ると、やけど、けが、感電などの原因となります。



内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



一般的のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示 本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じことがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。
→P15「材質一覧」



指示 本端末の受話口／スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示 ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

◆ アダプタの取り扱い



指示 アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 警告



アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

濡れ手禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指示

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書をご確認ください。



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

指示

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り扱い



指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

⚠ 警告



指示 植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示 医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

■ F-01K 本体

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	フロントケース	PBT樹脂＋アルミ／アルマイト処理
	リアパネル	PC-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
アウトカメラパネル、フラッシュパネル		PC樹脂／なし
電源キー／指紋センサー		エポキシ樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
音量キー		PA-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイ	トレイキャップ部	アルミ＋PC樹脂＋ポリエスチル系エラストマー樹脂／アルマイト処理
	トレイピン、ピンカバー	ステンレス鋼
	トレイ部	アルミ／アルマイト処理
ステレオイヤホン端子		PA樹脂／なし
IMEIシート（シート、バーコード）		PET／なし

使用箇所	材質／表面処理
USB Type-C	ステンレス鋼／ニッケルメッキ

■ テレビアンテナケーブル F01

使用箇所	材質／表面処理
コード部	オレフィン系エラストマー
ジャック	外装部 スチレン系エラストマー
	金属部 ニッケル下地、黄銅／金メッキ
プラグ	外装部 スチレン系エラストマー
	金属部 ニッケル下地、黄銅／金メッキ
	カラー POM
	成型部 PP

取り扱い上のご注意

◆ 共通のお願い

- F-01Kは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。

- アダプタ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。

- 端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用できない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がかかるないように使用してください。
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
 - 指定のオプション品以外を使用した場合、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。

◆本端末についてのお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
 - 傷つくことがあります、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般的な電話機やテレビ・ラジオなどを使いになつていて、近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
 - 万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中に本端末が温くなることがあります、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
 - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。
 - 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
 - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
 - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤作動の原因となります。

- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
 - 近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
 - 近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
→P28「各部の名称と機能」
- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。
 - 内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
 - 十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5°C～35°C）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

◆アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5°C～35°C）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがあります、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
 - 故障の原因となります。

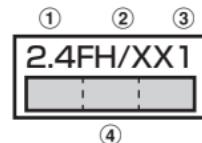
◆ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモ nanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
 - IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用できない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
 - 万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
 - 故障の原因となります。

- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
 - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行な際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH/XX : 变調方式がFH-SS方式およびその他の方式 (DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外) であることを示します。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ [] : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- 1.本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2.万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
- 3.その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

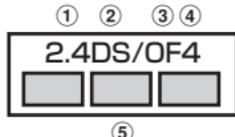
• 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

•周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS : 变調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF : 变調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ □□□ : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

ドコモnanoUIMカードが挿入されていない場合や挿入されていても圏外の場合には、国内外に関わらず

2.4GHz帯の12、13チャネルおよび5GHz帯の120～128チャネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHzでご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

本端末が日本で使用できる周波数とチャネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯 : 5180～5240MHz (36, 38, 40, 42, 44, 46, 48Ch)
- 5.3GHz帯 : 5260～5320MHz (52, 54, 56, 58, 60, 62, 64Ch)
- 5.6GHz帯 : 5500～5700MHz (100, 102, 104, 106, 108, 110, 112, 116, 118, 120, 122, 124, 126, 128, 132, 134, 136, 140Ch)

◆注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で → [設定] → [システム] → [端末情報] → [認証]

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願ひいたします。

- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

◆FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。

- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。

また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。

その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

防水／防塵、耐衝撃性能

F-01Kは、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じた状態で、IPX5^{*1}、IPX8^{*2}の防水性能、IP6X^{*3}の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験^{*4}をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

*1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

*2 F-01KにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-01Kを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します（水中においてカメラ機能は使用できません）。

*3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

*4 アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G w/ Change1 Method 516.7-Shockに準拠した独自の落下試験を実施しています。

防水	浸漬	30分間にわたる水深1.5mでの浸漬試験
	風雨	30分間にわたる18m/sの降雨試験
防塵		連続6時間（粉塵10±7g/m ³ 、風速8.9m/s）の粉塵試験
耐衝撃		高さ約1.22mから26方向で合板（ラワン材）に落下させる試験

耐振動	3時間（3方向各1時間）の振動試験	
耐日射	連続24時間（合計1,120W/m ² ）の日射試験	
防湿	連続10日間（湿度95%、30～60℃）の高湿度試験	
温度耐久	高温動作	動作環境：60℃の高温試験
	高温保管	保管環境：70℃の高温試験
	低温動作	動作環境：-20℃の低温試験
	低温保管	保管環境：-30℃の低温試験
低圧対応	低圧保管	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
	低圧動作	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
塩水耐久		連続96時間（濃度5%の塩水を噴霧24時間、乾燥24時間を2サイクル）の塩水耐久試験

米国国防総省の調達基準（MIL-STD-810G）の14項目、防水（浸漬、風雨）、防塵、耐衝撃、耐振動、耐日射、防湿、温度耐久（高温動作、高温保管、低温動作、低温保管）、低圧対応（低圧保管、低圧動作）、塩水耐久に準拠した試験を実施しています。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。

◆F-O1Kが有する防水性能でできること

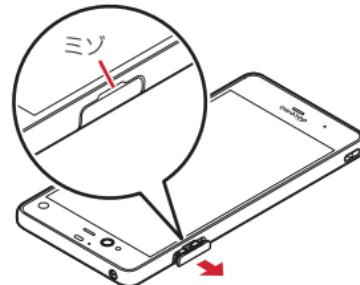
- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話やテレビの視聴ができます。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの開閉はしないでください。
- 常温の水道水で手洗いすることができます。
 - ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが開かないように押されたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 規定（→P23）以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ブラシやスポンジ、石鹼、洗剤などは使用しないでください。
 - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
 - 洗った後は所定の方法（→P26）で水抜きしてください。
- 風呂場で使用できます。
 - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P26）で水抜きしてください。
 - 温泉や石鹼、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
 - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
 - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。

- 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

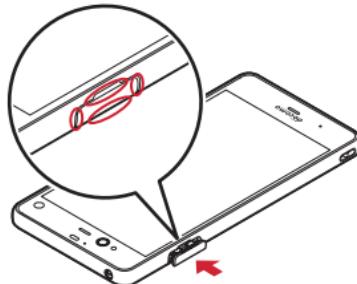
◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時には、ミゾに指先をかけてトレイキャップを開け、トレイを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出します。



- 使用後はトレイを矢印の方向にまっすぐ水平に差し込み、○部分をしっかりと押します。本端末とトレイキャップの間にすき間がないことを確認してください。



- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な纖維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイク、ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイなどを尖ったものでつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- トレイキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。本端末のUSB Type-C接続端子にACアダプタを接続している状態では、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P23）以上の強い水流を直接当てないでください。F-O1KはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。

- ・万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- ・熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- ・本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- ・プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- ・本端末は水に浮きません。
- ・水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ・ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイクに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- ・USB Type-C接続端子に蛇口の水を直接当てないでください。
- ・ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ・トレイキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

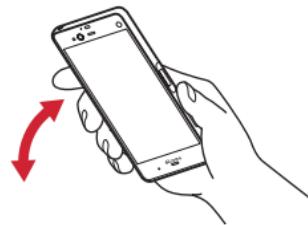
◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

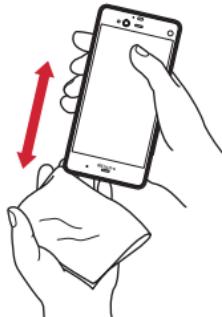
- ① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイク、キーなどのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- ・水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- ・すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

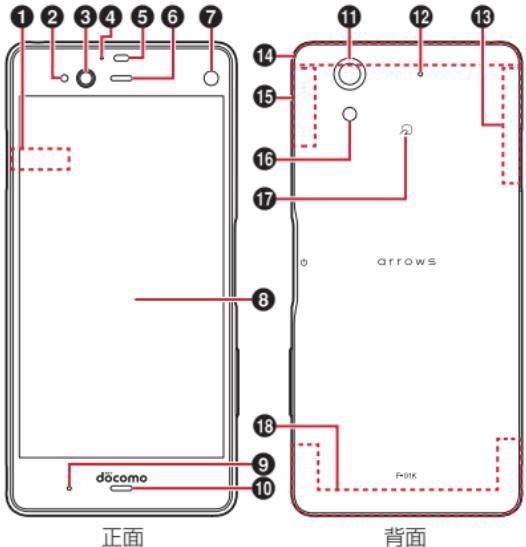
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- ・本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- ・本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- ・USB Type-C接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- ・ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- ・濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



① 銘板プレート→P192

② インカメラ→P102

③ 虹彩認証用カメラ→P150

虹彩登録時や虹彩認証操作時に使用します。

④ お知らせLED→P46

⑤ 近接センサー／RGBセンサー※1

近接センサーは通話中に顔の接近を検知し、タッチパネルの誤動作を防いだり、虹彩認証操作時に端末と目の距離を計測したりします。RGBセンサーは周囲の光の状態や明るさを検知して、バックライトの明るさを自動調節します。

⑥ 受話口／スピーカー

⑦ 虹彩認証用LED→P150

虹彩登録時や虹彩認証操作時に使用します。

⑧ ディスプレイ（タッチパネル）

⑨ 送話口／マイク※2

⑩ スピーカー

⑪ アウトカメラ→P102

⑫ 背面マイク

通話時に騒音を抑えるために使用します。ふさがないようご注意ください。

⑬ Wi-Fiアンテナ部※3

⑭ LTE／FOMA／GPSアンテナ部※3

⑮ Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※3

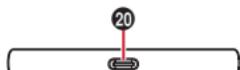
⑯ フラッシュ／ライト

⑰ フマーマーク→P91

⑱ LTE／FOMAアンテナ部※3



上側



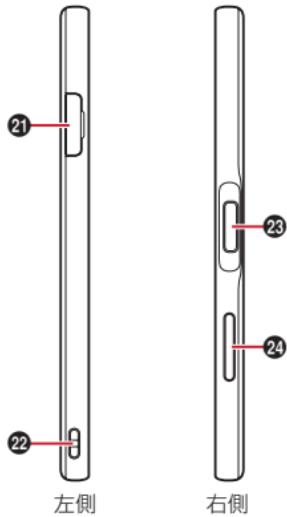
下側

⑲ ステレオイヤホン端子（防水）

⑳ USB Type-C接続端子（防水）

充電時やパソコンなどの接続時に使用します。

USB Power Deliveryに対応しています。



左側

右側

- ②① ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ^{*4}
- ②② ストラップホール
- ③③ 電源キー／指紋センサー／Exlider→P35、P37、P51、P148
電源操作のほか、スリープモードの設定／解除を行います。
- ④④ 音量キー
音量調節のほか、音量キーの下を1秒以上押してマナーモードの設定／解除を行います。

- ※1 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。
- ※2 送話口／マイク部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、正しく音声認識されない場合があります。
- ※3 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
- ※4 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。

■ ご注意

- ・背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうすると破損や故障の原因となります。
- ・本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

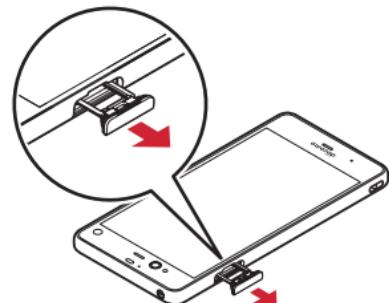
- ・本端末ではドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- ・ドコモnanoUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発着信やSMSの送受信などの機能を利用することができます。
- ・ドコモnanoUIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外し

- ・取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- ・ドコモnanoUIMカードの取り付けには、必ずトレイを使用してください。ドコモnanoUIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

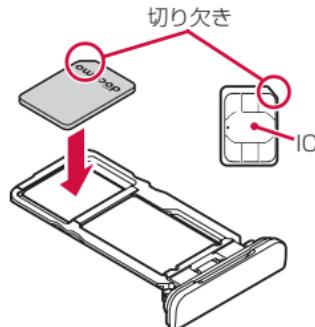
■ 取り付けかた

- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、ミゾに指先をかけてトレイキャップを開ける→P24
- ② トレイを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す
・トレイは本端末から外れる構造になっています。

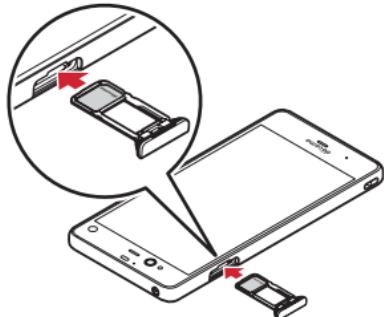


③ ドコモnanoUIMカードのIC面を下にしてトレイにはめ込む

- ・切り欠きの方向にご注意ください。
- ・トレイからドコモnanoUIMカードが浮かないようにはめ込んでください。



- ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、矢印の方向にトレイをスロットへまっすぐ水平に差し込む



- ⑤ トレイキャップをしっかりと押して閉じる→P24

■ 取り外しかた

- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、ミゾに指先をかけてトレイキャップを開ける→P24
② トレイを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P30
③ ドコモnanoUIMカードをトレイから取り外す
④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、トレイをスロットへまっすぐ水平に差し込む→P31
⑤ トレイキャップをしっかりと押して閉じる→P24

✓お知らせ

- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモ nanoUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうすると、ドコモnanoUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイをスロットに抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。トレイが破損するおそれがあります。

◆ ドコモnanoUIMカードの暗証番号

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P154

microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、256GBまでのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2017年11月現在）。

- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

✓お知らせ

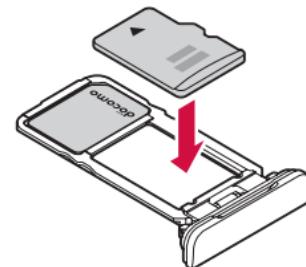
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- 動画撮影など大容量のデータを扱うアプリを利用する場合は、高速のmicroSDカードをご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- microSDカードの取り付けには、必ずトレイを使用してください。microSDカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

■ 取り付けかた

- 本端末のディスプレイ側を上に向け、ミゾに指先をかけてトレイキャップを開ける→P24
- トレイを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P30
- microSDカードの金属端子面を下にしてトレイにはめ込む
 - トレイからmicroSDカードが浮かないようにはめ込んでください。



- 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、トレイをスロットへまっすぐ水平に差し込む→P31
- トレイキャップをしっかりと押して閉じる→P24

■取り外しかた

- ①本端末のディスプレイ側を上に向け、ミゾに指先をかけてトレイキャップを開ける→P24
- ②トレイを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P30
- ③microSDカードをトレイから取り外す
- ④本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、トレイをスロットへまっすぐ水平に差し込む→P31
- ⑤トレイキャップをしっかり押して閉じる→P24

充電

◆充電時のご注意

- ・アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- ・充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがあります、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせLEDが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- ・長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電器から本端末を取り外して、充電し直してください。

・内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせLEDが点滅します。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から本端末を取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、充電器から本端末を取り外して、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- ・電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- ・充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→ P196

◆内蔵電池の寿命について

- ・内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっています。充電しながら通話などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- ・「端末情報」から内蔵電池の性能（充電能力）を確認することができます。→P164
- ・1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になつたら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。



Li-ion 00

◆ ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

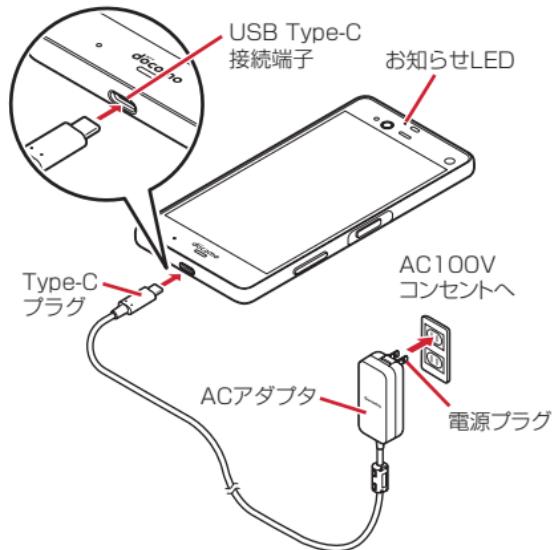
ACアダプタ 06（別売品）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

DCアダプタ 05（別売品）：自動車の中で充電する場合に使用します。ご利用には、別途USBケーブル A to C 01（別売品）が必要となります。

◆ ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 06（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

- ① ACアダプタのType-C プラグを本端末のUSB Type-C 接続端子に水平に差し込む
- ② ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中は本端末のお知らせLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
- ③ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- ④ 本端末のUSB Type-C接続端子からACアダプタのType-C プラグを水平に抜く



◆ パソコンを使って充電

USBケーブル A to C 01（別売品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、[キャンセル] を選択してください。

電源を入れる／切る

◆ 電源を入れる

- 電源を入れる前に、本端末とトレイキャップの間にすきまがないことを確認してください。

1 お知らせLEDが緑色に点灯するまで⁽¹⁾を押し続ける(2秒以上)

本端末が振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→ P45

2 画面ロックを解除

- 画面ロックの解除方法については「画面ロックの解除」をご覧ください。→ P51

◆ 電源を切る

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで⁽¹⁾を押し続ける

- 携帯電話オプションメニューでは次の項目が表示されます。

電源を切る：本端末の電源を切ります。

再起動：本端末を再起動します。

機内モード：機内モードをON／OFFにします。→ P128

通常マナー／サイレントマナー／アラームONマナー：マナーモードをON／OFFにします。→ P138

非常用節電モード：非常用節電モードをON／OFFにします。→ P38

2 [電源を切る]→[OK]

本端末が振動して電源が切れます。

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

本端末は、タッチパネルに直接指を触れて操作します。

◆ タッチパネル利用上のご注意

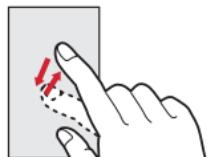
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

・次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

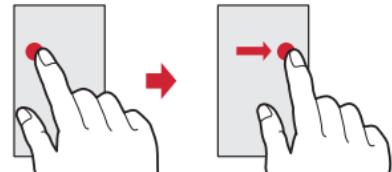
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたまでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチパネルが濡れたまでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- 水中での操作

❖ タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてからすぐに離します。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



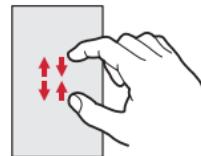
例：タップ



例：ドラッグ

❖ ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



❖ ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

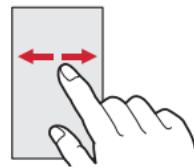
❖ ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。

スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

・アプリによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

パン：Webページなどで一画面では表示しきれないときに、画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



◆ Exliderの使いかた

Exlider (◎) をなぞることで画面のスクロールや拡大ができます。

- Exliderの設定を変更することができます。→P160

◆ Exlider利用上のご注意

- 次の場合は、本機能は動作しません。

- スライドディスプレイの表示中
- 分割画面の表示中
- 指紋登録時、指紋認証中
- 非常用節電モード中

- 静止画など表示中の画面によっては、スクロールモードに対応していない場合があります。

◆ 操作方法

本機能がONのときは、スクロールモードが有効になります。Exlider (◎) をダブルタップすると、拡縮モードに切り替わります。拡縮モード中に、Exlider (◎) をダブルタップまたは画面を切り替えたり、アプリを終了したりすると、スクロールモードに切り替わります。

- スクロールの方向やオートスクロールの速度、バイブルーションの有無などを変更することができます。→ P160

■ スクロールモード

上下スクロール：Exlider (◎) を上または下にスライド

オートスクロール：Exlider (◎) を上または下にスライドして触れたまま

- 画面の最上／最下の位置までスクロースし続けます。

■ 拡縮モード

かんたんモード：Exlider (◎) をダブルタップ（画面を2.2倍に拡大）→Exlider (◎) を上または下にスライド（画面の拡大比率の変更）

狙って拡大：Exlider (◎) をダブルタップ（拡大枠を表示）→Exlider (◎) を上または下にスライド（拡大したい場所まで拡大枠を移動）→Exlider (◎) をタップ（画面を2.2倍に拡大）→Exlider (◎) を上または下にスライド（画面の拡大比率の変更）

✓お知らせ

- Exliderの使いかたを確認できます。→P160

◆ 縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P134）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆ スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 ◎と音量キーの下を同時に押す(1秒以上)

スクリーンショットが保存され、ステータスバーに□が表示されます。

- ステータスバーを下方向にフリックして通知パネルを開き（→P49）、スクリーンショットの通知をタップ→アプリを選択、またはホーム画面で「アルバム-Scene」をタップすると、画像を確認できます。

◆非常用節電モード

災害などの非常時に、画面の明るさを抑えたり各種機能をオフにしたりして、電池の消費を抑えることができます。

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで□を押し続ける

2 [非常用節電モード]→[OK]

本端末が再起動し、非常用節電モードが設定されます。

- ・設定を解除するには再度同じ操作を行うか、非常用節電モードのホーム画面で [節電解除] → [OK] をタップします。

✓お知らせ

- ・ホーム画面で → [災害用キット] → → [OK] をタップしても、非常用節電モードを設定できます。
- ・非常用節電モード中は、電源をオフにしても設定は解除されません。

◆アプリの権限

本端末の機能や情報にアクセスするアプリや機能を初めて起動すると、アクセス権限を許可するかの確認画面が表示されます。アクセス権限を許可すると、アプリや機能で該当する機能や情報を利用できるようになります。

- ・アプリや機能によって表示される確認画面が異なります。表示内容をよくご確認の上、操作してください。

〈例〉「アルバム-Scene」アプリを初めて起動する場合

1 ホーム画面で【アルバム-Scene】

確認画面が表示されます。

2 [許可しない]／[許可]

以降は画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- ・アクセス権限を許可しないとアプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ・権限の設定を変更するには、ホーム画面で → [設定] → [画面・音・アプリ] → [アプリ] → アプリを選択 → [権限] → 変更する権限をON／OFFにします。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にSuper ATOK ULTIASでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P42
- 外付けキーボードを接続して入力ができます。→P44

◆ キーボードの使いかた

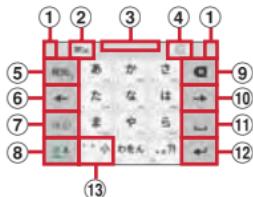
テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書き入力で文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声入力を起動できます。→P40
- 上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボードやQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。→P43

■ テンキーキーボード

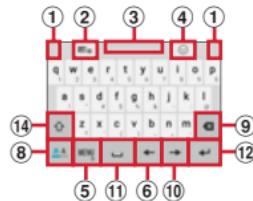
1つのキーに複数の文字が割り当てられています。

- フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力から入力方式を選択できます。→P41



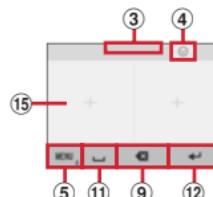
■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。



■ 手書き入力

手書きで文字を入力します。



• 設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

- ① 左右にドラッグしてキーボードの横幅を調整
- ② 上書き手書き入力の有効／無効
- ③ 上下にドラッグしてキーボードの高さを調整
- ④ 数字／記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示
- ⑤ [メニュー]：メニューの表示

• メニューを表示すると、次の操作ができます。

テンキー：テンキーキーボードへ切り替え

QWERTYキー：QWERTYキーボードへ切り替え

手書き：手書き入力へ切り替え

全画面手書き：全画面での手書き入力へ切り替え

上書き手書き：上書き手書き入力の有効／無効

定型文：定型文の表示

記号・顔文字・絵文字：数字／記号／顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示

テーマ切替：キーボードの配色を切り替え

引用アプリ：電話帳の引用、パーソナルノートの引用用

[設定] をタップすると、キーを上にフリックしたときに起動するアプリを選択できます。

パーソナルノート：パーソナルノートの引用

設定：Super ATOK ULTIASの設定→P42

- 上にフリックすると設定した引用アプリを起動します。右にフリックして郵便番号を入力→[変換] をタップすると、郵便番号に対応した住所を入力できます。

(ロングタッチ)：音声入力の起動

キーに割り当てられた文字を逆順に表示

⑥ カーソルを左に移動

- テンキーキーボードでは、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、右にフリックするとカーソルを右に移動します。

QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上に移動、右にフリックするとカーソルを下に移動します。

⑦ 数字／記号・顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示

⑧ : かな／英字入力モードの切り替え

: かな／英字／数字入力モードの切り替え

⑨ Backspace (カーソルの左側の文字を削除)

- 文字確定後にキーを上にフリックするとカーソルの右側の文字を削除、左にフリックするとカーソルの左側にある文字を全削除します。

- 文字確定後に削除した文字を元に戻すには、キーを下にフリックします（縦画面の手書き入力では右にフリック）。

⑩ カーソルを右に移動

- テンキーキーボードでは、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、左にフリックするとカーソルを左に移動します。

QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上に移動、左にフリックするとカーソルを下に移動します。

⑪ : 空白の入力

- 上にフリックすると、全角入力時は半角の空白、半角入力時は全角の空白を入力します。

文字の変換

⑫ : 確定または改行

次の入力欄へカーソルを移動

検索

実行

⑬ : 小文字／大文字の切り替え、濁点／半濁点をつける

A/a 英字の大文字と小文字の切り替え

⑭ 英字の大文字と小文字の切り替え

- タップするたびに、最初の1文字のみ大文字→大文字→小文字に切り替わります。

⑮ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力

- 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。認識された文字をタップして表示される補正候補一覧から文字を選択できます。補正候補一覧の上で文字を書き直すこともできます。

✓お知らせ

- キーボードを非表示にするには、をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。
- 変換候補がない単語を入力して確定したとき、②の位置に[■]が表示される場合があります。[■]をタップすると入力した単語をユーザー辞書に登録できます。
- パスワードなどの入力画面では、入力画面とパーソナルノートで登録したID（アカウント）やパスワードなどを関連付けし、引用入力することができます。
キーボード上部に表示された「パーソナルノートへの登録」をタップし、パーソナルノートに認証情報を登録して入力画面と関連付けします。引用入力する場合は、「パーソナルノートからの引用」をタップします。
- Chromeでは、関連付けられた画面情報をもとに、ID、パスワードが自動で引用入力されます。ただし、ID、パスワードの画面構成によっては、自動で引用入力されない場合もあります。
- その他のアプリでは、関連付けられた画面情報をもとに、一覧画面から選択した項目が引用入力されます。

❖ テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。

- 【テンキー】で入力方式を選択して利用します。→P42

■ フリック入力

- 入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。
- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、フリックした後[■]を1回または2回タップします。

■ ケータイ入力

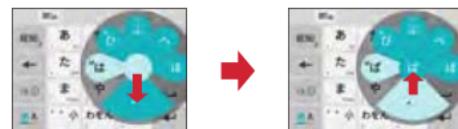
入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、タップした後[■]を1回または2回タップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音／促音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「ぱ」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字の切り替えができます。

■ 2タッチ入力

1回目に入力したい文字が割り当てられているキーをタップし、2回目に目的の文字をタップします。

◆入力方法の切り替え

Googleキーボードなど、他の入力方法に切り替えて入力できます。

- Googleキーボードは日本語入力に対応していません。

1 ホーム画面で[設定]→[言語と入力]

2 [現在のキーボード]→入力方法を選択

- ・「現在のキーボード」の一覧画面に表示するキーボードは、「文字入力の設定」(→P42) の「キーボードを管理」で設定できます。

✓お知らせ

- ATOKの日本語キーボードに戻すには、入力方法の一覧で「日本語 Super ATOK ULTIAS」を選択します。
- 文字入力中に入力方法を切り替えるには、ナビゲーションバー(→P47)の[■]をロングタッチして、入力方法を選択します。

◆文字入力の設定

入力方法ごとに各種設定ができます。

1 ホーム画面で[設定]→[言語と入力]

2 [仮想キーボード]

仮想キーボード一覧画面が表示されます。

3 [Googleキーボード]/[Super ATOK
ULTIAS]/[ドコモ文字編集]/[Google音
声入力]

- ・「キーボードを管理」をタップすると、「現在のキーボード」「仮想キーボード」の一覧画面に表示するキーボードを設定できます。

4 各項目を設定

• 設定できる項目は、入力方法により異なります。

❖ Super ATOK ULTIASの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語の登録（ユーザー辞書）や定型文の編集、設定の初期化などもできます。

1 ホーム画面で[設定]→[言語と入力]→
[仮想キーボード]→[Super ATOK
ULTIAS]

2 各項目を設定

ULTIASオススメ機能：選べるキーボード、フリック学習モード、ATOK キーワード Express（有効にする、ジャンルの選択、更新を通知、今すぐ受信、自動受信、受信間隔、Wi-Fi接続時のみ受信）を設定します。

操作音・バイブ：キー操作音、キー操作バイブを設定します。

テンキー：入力方式（フリック入力／ケータイ入力／ジェスチャー入力／2タッチ入力）、フリック入力（フリックガイド、フリック感度、「や」キーフリック、修飾キーフリック、英字キーフリック）、ケータイ入力の有効化、自動カーソル移動（自動カーソル移動、自動カーソル移動の速度）、ジェスチャー入力（ジェスチャーガイド、ジェスチャー感度、タッチ位置を中心に表示、高速表示、高速で閉じる、ジェスチャーガイドの表示時間、「や」キージェスチャー）、数字は確定入力を設定します。

QWERTYキーボード：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面、横画面）を設定します。

手書き入力：上書き手書き入力（テンキー、QWERTYキーボード）、通常手書きまたは全画面手書きの枠数（縦画面、横画面）、確定速度（自動確定ON、確定速度）、線の表示（通常手書きまたは全画面手書きの太さ、色）を設定します。

共通設定：ひらがな入力時／英字入力時／数字入力時のキーボードの選択、使用するキーボード、MENUフリックの引用アプリ選択、推測変換、未入力時の推測候補表示、学習機能、スペースは半角で出力、自動スペース入力、文字削除キー、機能フリックガイド、バックキー、自動全画面化（横画面）、ハードキーボードを優先、マルチタッチを設定します。

- ・アプリによっては、文字入力時に推測変換候補が表示されません。
- ・[自動全画面化（横画面）] を有効に設定しても、アプリによっては全画面表示にならないものがあります。

変換候補一覧の表示：文字サイズ、候補の表示行数（縦画面、横画面）、表現モード、句読点の表現、推測訂正候補の表示、校正支援の表示を設定します。

デザイン：選べるキーボード、テーマ、キーボードのサイズ調整（テンキー（縦画面／横画面）、QWERTY（縦画面／横画面）、手書き（縦画面／横画面））、フローティングキーボード（縦画面、横画面）を設定します。

- ・[フローティングキーボード] の [横画面] を有効に設定しても、全画面表示のときはフローティングキーボードが無効になります。

ユーティリティ：辞書ユーティリティ、定型文ユーティリティ、ATOK Sync（有効にする、共有した単語の確認、今すぐ更新、自動更新、更新間隔、Wi-Fi接続時のみ実行）、設定のエクスポート／インポート（設定のエクスポート、設定のインポート）、一括エクスポート／インポート（一括エクスポート／一括インポート）を設定します。

初期化：設定の初期化、学習データの初期化を行います。

- ・[設定の初期化] を実行しても学習データや編集したユーザー辞書／定型文は削除されません。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

Super ATOK ULTIAS：Super ATOK ULTIASのバージョンを確認します。

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- ・アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖ テキストのコピー／切り取り

■ 文字入力欄でのコピー／切り取り

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- ・テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- ・すべてを選択するには、 → [すべて選択] をタップします。
- ・選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

2 [コピー]／[切り取り]

■ Webサイトなどでコピー

1 テキストをロングタッチ

テキスト範囲がハイライト表示されます。

- ・テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- ・すべてを選択するには [すべて選択] をタップします。
- ・選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- ・Webサイトによっては、リンクをロングタッチして表示されるメニューから [リンク テキストをコピー] をタップなどの操作ができます。

2 [コピー]

✓ お知らせ

- ・テキストをロングタッチし、[共有] をタップすると、選択したテキストをアプリで送信できます。

❖ テキストの貼り付け

1 貼り付け位置をタップ→[貼り付け]

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

◆ 外付けキーボードの利用

本端末とBluetoothキーボード（HID／SPP）やUSBキーボードを接続して文字入力ができます。

- ・101キーボード、104キーボード、106キーボード、OADG 109キーボード、OADG 109Aキーボードに対応しています。
- ・Bluetoothキーボードの接続方法については、「Bluetooth機器との接続」をご覧ください。→P168
- ・USBキーボードを利用する場合は、USBキーボードを本端末のUSB Type-C接続端子に接続します。

❖ 外付けキーボードの設定

- ・外付けキーボードが接続されていると、キーボードが表示されます。

1 ホーム画面で→[設定]→[言語と入力]

2 [物理キーボード]→任意のキーボードを選択→任意のキーボードレイアウトを選択

❖仮想キーボードの表示

外付けキーボードが接続されているときにソフトウェアキーボードを表示するかを設定できます。

- 1 ホーム画面で [] → [設定] → [言語と入力]
- 2 [物理キーボード] → [仮想キーボードの表示] をタップしてON／OFFを設定

❖キーボードのショートカット表示

接続した外付けキーボードで使用できるショートカットを表示します。

- 1 ホーム画面で [] → [設定] → [言語と入力]
- 2 [物理キーボード] → [キーボード ショートカット ヘルパー]

初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

- Googleアカウントの設定により表示される項目が異なる場合があります。

- 1 [日本語(日本)]を選択して[使ってみる]
 - 以降は画面の指示に従って以下の設定などを行ってください。
 - セットアップ方法の選択
 - Wi-Fi
 - Googleアカウント
 - 指紋によるロック解除
 - Google サービス
 - Google アシスタント
 - なぞるだけで簡単操作
- 2 ドコモサービスの初期設定画面で[すべてのリンク先の内容に同意する]→[次へ]

- 3 各項目を設定→[進む]

dアカウント：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。

ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。

アプリ一括インストール：契約中のドコモサービスに必要なアプリを一括でインストールすることができます。

4 その他の設定項目画面で各項目を設定→[設定を完了]

ホーム画面が表示されます。

✓お知らせ

- ・ホーム画面の使い方画面が表示された場合は、内容をご確認の上、[次へ] → [次へ] → [以後表示しない] / [OK] をタップします。
- ・端末エラー情報送信の確認画面が表示された場合は [OK] をタップします。
- ・ソフトウェアアップデートの確認画面が表示された場合は [OK] をタップします。

お知らせLED

充電中や不在着信など、本端末の状態をお知らせLEDの点灯や点滅で通知します。

■ 主な通知の種類と点灯／点滅について

本端末起動時：緑色1回点灯

充電中：赤色点灯

充電異常：赤色点滅

新着SMS：点滅色は「メッセージ」アプリで設定→P80

不在着信、伝言メモ：青色点滅

✓お知らせ

- ・アプリ利用時の点灯／点滅は、アプリによって設定や動作などが異なります。
- ・お知らせLEDの点灯／点滅についてはLED設定が優先されますが、アプリによってはアプリ側の設定に従って動作する場合があります。ただし、本端末起動時は本機能が優先されます。
- ・電源を切った状態で充電を開始した後、充電器から本端末を取り外すと、お知らせLEDが消灯するまで時間がかかる場合があります。
- ・通知の内容によっては、スリープモード中のみ点灯します。

画面表示／アイコン

◆ナビゲーションバーのアイコン

画面下部のナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。



◀ バックアイコン

タップ：直前の画面に戻る、アプリの終了

○ ホームアイコン

タップ：ホーム画面に戻る→P56

ロングタッチ：Googleの起動

□ 履歴アイコン

タップ：最近使ったアプリの表示→P53

▽/↑ スライドディスプレイアイコン*

タップ：画面全体をナビゲーションバーの方向に移動／元の表示に戻す→P47

⊕ いつでもズームアイコン**

タップ：画面の拡大／元の表示に戻す

※ 便利機能の【ナビゲーションバー】(→P161)で表示

／非表示を設定できます。

◆スライドディスプレイについて

片手で持っているときに画面全体をナビゲーションバーの方向に移動させることで、指が届かない部分も操作できるようになります。

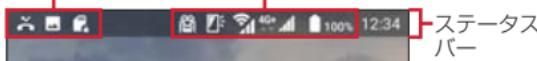
▽をタップすると、画面全体がナビゲーションバーの方向に移動した状態（スライドディスプレイ）で表示されます。

- ・横画面では、▶をタップすると、画面全体がナビゲーションバーの方向に移動した状態で表示されます。ただし、ステータスバーは移動しません。
- ・スライドディスプレイ表示中に◀/▶/▽/↗をタップすると、画面を左右または上下に移動できます。
- ・スライドディスプレイ表示中の空き領域で矢印方向にドラッグすると、スライド幅を調節できます。
- ・次の操作や動作で元の画面（位置）に戻ります。
 - スライドディスプレイ表示中に▣/▢/▢/▢をタップ
 - 縦画面から横画面に、または横画面から縦画面に切り替え
 - 電話着信時、または全画面表示で動作するアプリの表示
 - スリープモードに切り替わった後に再度画面を表示
 - 文字入力のキーボード表示
- ・スライドディスプレイアイコンの表示／非表示は、スライドディスプレイ表示中に▣をタップ、またはホーム画面で▣→【設定】→【便利機能】→【ナビゲーションバー】をタップして設定できます。
- ・画面ロック中やスクリーンセーバー起動中など、画面によってはスライドできない場合があります。

◆ステータスバーのアイコン

画面上部のステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。

通知アイコン ステータスアイコン



■主な通知アイコン

- ✉: 新着Gmail→P84
- ✉: 新着NX!メール→P80
- ✉: 新着ドコモメール→P78
- ✉: 新着SMS→P78
- ✉: 新着エリアメール→P84
- ❗: SMSの送信失敗→P78
- 📶: Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能→P123
- 📶: Wi-Fiテザリングが有効→P129
- 📶: USBテザリングが有効→P129
- 📶: Bluetoothテザリングが有効→P130
- 🌐: 2つ以上のテザリングが有効→P129
- 📞: 不在着信→P70
- 💬: 伝言メモあり→P71
- 📞: 留守番電話サービスの伝言メッセージ→P71
- ⬆️/⬇️: データのアップロード完了／ダウンロード完了
- 📲: Google Playなどからのアプリがインストール完了→P89
- 📲: Google Playのアプリがアップデート可能→P89
- 🎧: φ3.5イヤホン接続中
- 📺: バックグラウンドでフルセグ・ワンセグの視聴中／視聴予約の通知あり→P95
- 📺: バックグラウンドでフルセグ・ワンセグの録画中／録画予約の通知あり→P95

- ⌚: アラームのスヌーズ中／鳴動中／開始時刻2時間以内→P116
- 🖨: ドコモデータコピーの通知あり→P119
- 💾: 安心データ保存→P158
- 🕒: ソフトウェアアップデート→P193
- 📷: スクリーンショットで画像を保存→P37
- 📍: 位置提供設定ON→P143
- 🔒: おまかせロック設定中
- MemoryWarning: 本端末のメモリの空き容量低下
- 🔋: 電池にやさしい充電設定中→P141
- 🔊: Dolby AudioがON→P139
- ⚠: エラー／警告メッセージあり
- 🚫: dアカウント設定の認証失敗→P143
- 🔕: 表示しきれない通知あり

■主なステータスアイコン

- 📶: 電波状態
- ✖: 国外
- 🌐: 国際ローミング中
- 📶: 4G+ / 3G / G: 4G* (LTE) / 3G / GSM使用可能
 - 通信中は△ (アップロード時) ▽ (ダウンロード時) が白く表示されます。
- ※ 本端末は、LTE接続時は常に「4G+」が表示されます。
- 📶: 機内モード設定中→P128
- 📶: Wi-Fi接続中→P123
 - 通信中は△ (アップロード時) ▽ (ダウンロード時) が白く表示されます。
- ⌚: マルチコネクションが有効→P125
- *: Bluetooth機能ON→P168
- *: Bluetooth機器接続中→P168
- 📴: 本端末とドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中→P94
- 📴: 本端末またはドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中→P94

- : 本端末とドコモnanoUIMカードにおまかせロックを設定中
- : 本端末またはドコモnanoUIMカードにおまかせロックを設定中
- : 伝言メモ設定中→P71
- : スピーカーフォンON→P68
- : マイクミュート→P68
- : 着信バイブレーションON→P137
- : [通知の鳴動制限*] を [アラームのみ] または [優先する通知のみ] に設定中
- : [通知の鳴動制限*] を [サイレント] に設定中
- *パネルスイッチから設定できます。ご利用になる場合は、あらかじめパネルスイッチに [通知の鳴動制限] を追加してください。→P50
- : フルセグ・ワンセグの録画／視聴予約設定中、アラーム設定中→P95、P116
- : GPS測位中→P113
- : マナーモード（通常マナー）→P138
- : マナーモード（サイレントマナー）→P138
- : マナーモード（アラームONマナー）→P138
- : 電池残量0~15%*
- : 電池残量16~28%*
- : 電池残量29~100%*
- *電池残量に応じてアイコンの残量表示部分が変化します。
- : 充電中→P33
- : (白) : 持ってる間ON設定中（動きを検出して画面点灯中）→P135
- : (グレー) : 持ってる間ON設定中→P135
- : 手袋タッチON→P160
- : VPN接続→P131
- : ドコモnanoUIMカード未挿入
- : かな入力モード→P39
- : 英字入力モード→P39

- : 数字入力モード→P39
- : 手書き入力モード→P39
- : 数字／記号／顔文字／絵文字、定型文入力→P39

◆ 通知パネル

ステータスバーを下方向にフリックすると、通知パネルを開くことができます。通知パネルでは、通知アイコンの情報や確認したり設定を行ったりできます。

1 ステータスバーを下方向にフリック



① 設定

設定メニューを表示することができます。→P122

② パネルスイッチを開く

表示されていないパネルスイッチを表示することができます。→P50

③パネルスイッチ

- ・パネルスイッチの一部が表示されます。→P50
- ・パネルスイッチをタップすると、機能や設定のON/OFFを切り替えることができます。
- ・パネルスイッチを下方向にフリックすると、表示されていないパネルスイッチを表示することができます。

④通知

- ・通知をタップすると、詳細を確認したり、対応するアプリを起動したりすることができます。
- ・通知をロングタッチまたは、左右にスライドして【通知】をタップすると、通知設定することができます。

⑤すべて消去

通知をすべて削除して通知パネルを閉じることができます。

通知の内容によっては削除されない場合や【すべて消去】が表示されない場合があります。

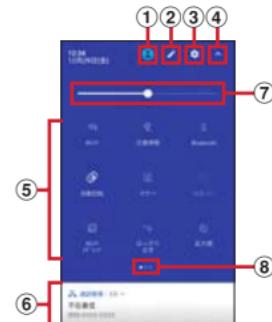
✓お知らせ

- ・通知パネルを閉じるには、通知パネルを上方向にフリック、または【△(バック)】をタップします。
- ・不在着信の通知の下に表示されている【発信】【SMS】をタップして、電話をかけたりSMSを送信したりできます。ただし、不在着信が2件以上ある場合は表示されません。

◆パネルスイッチ

ステータスバーを2本指で下方向にフリックすると、パネルスイッチを開くことができます。パネルスイッチをタップして、機能や設定のON/OFFを切り替えることができます。

1 2本指でステータスバーを下にフリック



①ユーザー

ユーザー／ゲストの追加や切り替えができます。→P142

②編集

パネルスイッチをロングタッチしたままドラッグして、削除や追加することができます。編集画面で【リセット】をタップすると、編集内容をリセットできます。

③設定

設定メニューを表示することができます。→P122

④パネルスイッチを閉じる

パネルスイッチを閉じて、通知パネルを表示することができます。→P49

⑤ パネルスイッチ

パネルスイッチをタップすると、機能や設定のON/OFFを切り替えることができます。

パネルスイッチをロングタッチすると、対応する設定メニューが表示されます。

⑥ 通知→P50

⑦ 画面の明るさのレベル

スライダーをスライドして明るさを調整できます。

⑧ インジケータ

パネルスイッチのページ枚数と現在表示位置を示します。

✓お知らせ

- パネルスイッチを閉じるには、パネルスイッチを上方向にフリック、または◀(バック)をタップします。
- 充電中はNFCを利用できないため、パネルスイッチのNFCはON/OFFを操作できません。

◆スリープモード

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。また、電池の消費を抑えることもできます。

1 ◎

✓お知らせ

- 本端末を一定時間操作しなかったときも、[画面消灯時間] (→P134) の設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。
- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆画面ロックの解除

1 スリープモード中に◎

2 ロック画面で◎

ロックが解除されます。



「ひつじのしじくん®」
©NTT DOCOMO

- [セキュリティ解除方法] の設定 (→P147)によっては、ロック画面をスワイプ後に認証操作になります。
- ロック画面の◎をタップするとカメラが起動します。
- ロック画面の■をタップするとしゃべってコンシェルジが起動します。

✓お知らせ

- お買い上げ時はロック画面が表示されても、不在着信と未読ドコモメールの件数は表示されます。
- お買い上げ時は、ロック画面は約10秒後にスリープモードになります。

◆スライドイン機能

画面の端にあるスライドスポット（スライドを始める位置）から指をスライドすることで、スライドインランチャーやキャプメモ／なぞってコピーを呼び出すことができます。

- ・スライドイン機能の設定については、「スライドイン機能」をご覧ください。→P161

❖スライドインランチャー

スライドインランチャーに登録されたショートカットからアプリを起動します。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって 指をスライドさせて、スライドインラン チャーのショートカットで指を離す

- ・お買い上げ時は画面の左下隅のスライドスポットにスライドインランチャーが設定されています。
- ・スライドインランチャーと一緒に呼び出される^森の位置で指を離すと、スライドイン機能を設定できます。

2 目的の操作を行う

❖キャプメモ

表示されている画面をキャプチャして、画像として編集したり、他のアプリと共有したりできます。

- ・画面によってはキャプチャできない場合があります。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって 指をスライドさせて、[キャプメモ]領域で指 を離す

- ・お買い上げ時は画面の右下隅のスライドスポットにキャプメモ／なぞってコピーが設定されています。

2 目的の操作を選択

画像を編集：ツールをタップして編集操作を行う→
[保存]

- ・画像は、アルバム-Scene（→P110）などで確認できます。
- ・描画ツールで画像に文字や絵などを手書きしたり、トリミングや拡大／縮小したりできます。

他のアプリと共有：[共有] →アプリを選択→画面の指示に従って操作

- ・[共有] の隣に表示されているアプリアイコンをタップしてもアプリを起動できます。

❖なぞってコピー

画面を指でなぞって選択した文字列を、コピーしたり他のアプリと共有したりできます。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって 指をスライドさせて、[なぞってコピー]領域 で指を離す

- お買い上げ時は画面の右下隅のスライドスポットにキャプメモ／なぞってコピーが設定されています。

2 コピーしたい文字列を指でなぞる

認識された文字にマーカーが引かれ、プレビュー表示されます。

- プレビューをタップするとキーボードが表示され、文字を編集することができます。
- 選択した文字列や背景画像によっては、正しく認識されない場合があります。

3 目的の操作を行う

文字列をコピー：[コピーする]

- ▲／▼をタップして、プレビューの表示／非表示を切り替えられます。[クリア]をタップすると、文字列の選択が解除されます。

他のアプリと共有：貼り付け先のアプリを選択

- 選択した文字列によって、表示されるアプリが異なります。

◆画面のカスタマイズ

キーボード、電池アイコンのデザインを変更できます。

1 ホーム画面で[設定]→[画面・音・アプリ] →[壁紙・画面]→[詳細カスタマイズ]

2 各項目を設定

タスク管理

□(ホーム)をタップするなどしてアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能で実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 □(履歴)

最近使ったアプリが表示されます。

- サムネイルをタップするとアプリを表示できます。
- サムネイルを左右にフリックしたり、[X]をタップしたりするとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには「全て終了」をタップします。

✓お知らせ

- 最近使ったアプリの表示／非表示を設定できます。→ P154

分割画面

画面を2分割して、それぞれの画面で異なる2つのアプリを同時に操作できます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。
- 分割画面に対応していないアプリは、本機能で表示できません。

1 □(履歴)

最近使ったアプリが表示されます。

2 表示するアプリのサムネイルをロングタッチして画面上部に表示される[分割画面を使用するにはここにドラッグします]までドラッグ

- 画面上部に「アプリで分割画面がサポートされていません」と表示された場合は、本機能で表示できません。

3 画面下側から表示するアプリのサムネイルをタップ

- アプリがサムネイル表示されていない場合は、□(ホーム)をタップして表示するアプリを起動してください。

✓お知らせ

- 分割画面は、縦画面表示では上下、横画面表示では左右に分割して表示されます。
- 画面下側（横画面表示の場合は右側）に表示したアプリは切り替えができます。
アプリを切り替えるには、■をタップしてアプリのサムネイルを選択するか、○(ホーム)をタップして表示するアプリを起動します。
- 画面中央の■を画面上部または下部（横画面表示の場合は左端または右端）までドラッグするか、■をロングタッチすると、分割画面を終了できます。
- が表示されているときは、分割画面が継続されています。ホーム画面やアプリ一覧画面などを表示した際、■をタップすると分割画面に戻ります。

ホームアプリの切り替えかた

□(ホーム)をタップして表示される画面（ホーム画面）を変更します。本端末には「docomo LIVE UX」「NX! ホーム」「NX! ホーム シンプル」の3種類のホームアプリが用意されています。

- 1 ホーム画面で□→[設定]→[画面・音・アプリ]
→[壁紙・画面]→[ホーム画面切替]
- 2 切り替えるホームアプリを選択

✓お知らせ

- ホームアプリによっては、ホームアプリを切り替えるとロック画面の壁紙が変更される場合があります。

ホーム画面

ホーム画面は、ウィジェットを貼り付けたり、アプリを起動したりすることができます。ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。



① ウィジェット

ウィジェット（Google™検索）を起動できます。

② マチキャラ

着信やメール受信などのお知らせを表示します。

③ アプリ

アプリを起動できます。

④ インジケータ

ホーム画面のページ枚数と現在表示位置を示します。

⑤ ドック

ホーム画面のページを切り替えると常に表示されます。

■ アプリボタン：アプリ一覧画面を表示します。→P58

■ マイマガジンボタン：マイマガジンを表示します。→P63

⑥ カスタマイズエリア

アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

⑦ フォルダ

複数のアプリを格納できます。

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリやウィジェットを貼り付けたり、フォルダを作成してアプリを管理したりできます。

- ・アプリは、ホーム画面またはアプリ一覧画面のいずれかに配置されます。
- ・ホーム画面に配置されたアプリ、ウィジェット、フォルダをロングタッチしてドラッグすると、位置を変更できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [アプリを表示]／[ウィジェットを表示]／ [フォルダを作成]

3 必要に応じて項目の選択や設定を行う

- ・アプリ／ウィジェット一覧画面でアイコンをロングタッチして画面下部のホーム画面表示領域までドラッグすると、ホーム画面にアプリを移動したり、ウィジェットを追加することができます。
- ・フォルダを選択してフォルダ名をタップすると、フォルダ名を変更することができます。
- ・アプリをロングタッチして、他のアプリの上にドラッグしてもフォルダを作成することができます。
- ・ウィジェットによっては、ロングタッチしてサイズを変更することができます。

✓お知らせ

- ・ドック（→P56）にもアプリやフォルダを配置できます。ただし、は移動／削除／変更ができません。はホーム画面で→→「マイマガジン利用設定」をタップして、ホーム画面表示の有無を設定できます。

❖アプリ／ウィジェットをホーム画面から削除

1 削除するアプリ／ウィジェットをロングタッチ

2 [アプリ一覧に戻す]／[ホーム画面から削除]までドラッグ

- ・アプリの場合はアプリ一覧画面（→P58）に移動します。

アプリやウィジェットの無効化：アプリまたはウィジェットをロングタッチして【アプリ無効化】までドラッグ→【無効にする】→【無効にする】

✓お知らせ

- ・アプリをロングタッチして【アンインストール】が表示された場合は、アプリを【アンインストール】までドラッグして【OK】をタップすると、アンインストールすることができます。

◆きせかえ／壁紙の変更

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [きせかえを変更]／[壁紙を変更]

3 項目の選択や設定を行う

✓お知らせ

- ・きせかえの設定は、ホーム画面で→→【きせかえ】をタップしても設定できます。また、ホーム画面で→【壁紙】→【きせかえを変更する】をタップしても設定できます。

・壁紙の設定は、ホーム画面で→【設定】→【画面・音・アプリ】→【壁紙・画面】→【壁紙】をタップし、表示された各項目から選択しても設定できます。

・電池アイコンのデザイン、ナビゲーションバーも変更できます。→P53、P161

◆ マチキャラの設定

キャラ表示やキャラ移動、吹き出し表示、キャラ自動アップデート設定などを変更できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [マチキャラ設定]

3 各項目を設定

◆ ホーム画面の追加／削除

最大7枚までのホーム画面を設定できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [ホーム画面一覧]

3 目的の操作を行う

追加 : [+]

並べ替え : ホーム画面のサムネイルをロングタッチして移動先までドラッグ

削除 : [X]

• アプリやウィジェットなどが配置されている場合は、削除の確認画面が表示されます。

表示 : ホーム画面のサムネイルをタップ

✓お知らせ

• ホーム画面で → → [ホーム画面一覧] をタップしても設定できます。また、ホーム画面の任意の位置でピンチインしても、ホーム画面一覧を表示できます。

アプリ一覧画面

アプリ一覧画面を呼び出し、登録されているアプリを起動したり、アプリやウィジェットをホーム画面に移動したりできます。

- アプリ一覧画面にないアプリは、ホーム画面に配置されています。

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。

1 ホーム画面で

- 初回起動時は操作ガイドが表示されます。[以後表示しない] または [OK] をタップします。
- ホーム画面を下方向へフリックしてもアプリ一覧画面を表示できます。



① アプリ／ウィジェット／壁紙の切り替えタブ

② アプリ／ウィジェット／壁紙の一覧（タブごとに表示）

- 左右にフリックして選択したり、設定したりします。

- アプリによっては、アイコンに未読件数などが表示されるものがあります。
- アプリ／ウィジェットをロングタッチしたままホーム画面表示領域へドラッグすると、ホーム画面にアプリを移動したり、ウィジェットを追加できます。

③すべてのアプリを表示ボタン→P62

④ホーム画面表示領域

- 左右にフリックするとホーム画面のページを切り替えられます。
- 上方向にフリックするか、タップするとホーム画面が表示されます。

⑤オプションメニュー

きせかえや本体設定などのオプションメニューを表示します。

⑥おすすめボタン

ドコモがおすすめするアプリをインストールできます。→P62

⑦インジケータ（タブごとに表示）

一覧画面のページ枚数と現在表示位置を示します。

✓お知らせ

- アプリ一覧画面で⋮→「ヘルプ」をタップすると、docomo LIVE UX操作ガイドを確認できます。

◆プリインアプリ一覧

 **@Fケータイ応援団**：@Fケータイ応援団のサイトに接続します。

 **Amazon Kindle**：Kindleストアで扱っている数多くの本やコミック、雑誌などの閲覧ができるアプリです。

 **Amazon ショッピング**：スマートフォンに最適化された画面で「Amazon」での買い物を快適に行える公式アプリです。

 **arrows life**：arrows lifeのサイトへ接続し、旬な記事をお届けします。

 **Chrome**：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P86

 **DiXiM Player**：ホームネットワーク上のテレビ録画番組や写真、音楽、ビデオをお手持ちの機器で視聴できるアプリです。ご利用には、Wi-Fi環境が必要となります。→P174

 **Duo**：ビデオ通話ができます。

 **dポイント**：dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

 **dマーケット**：音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。→P89

 **dメニュー**：「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。→P89

 **Excel**：Android™向けのMicrosoft Excelアプリです。

 **Exlider体験**：Exliderを体験するアプリです。

 **Facebook**：Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。

 **Gmail**：Googleや一般的のプロバイダが提供するEメールを利用できます。→P84

 **Google**：本端末内やWebサイトを検索します。→P118

 **HF Player**：音楽を再生することができるアプリです。→P111

 **iDアプリ**：ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。→P94

 **Instagram**：本端末で撮影した写真や動画を自由に編集し、家族や友達、そして世界中の人に簡単に共有できます。

 **LAWSON**：ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。

 **Messenger**：携帯電話の連絡先やFacebookの友達・グループにメッセージ送信、音声・ビデオ通話ができます。

 **My docomo アプリ**：お客様のデータ使用量やご利用料金、ご契約内容などの情報をご確認いただけます。

 **My Tracker**：日々の歩数や活動量、睡眠ログなどを記録し、確認できます。

 **NX!メール**：ドコモメールやGmail、インターネットメールなど複数のメールアカウントを設定し、一括で管理することができます。→P80

 **OneDrive**：Android向けのMicrosoft OneDriveアプリです。

 **OneNote**：Android向けのMicrosoft OneNoteアプリです。

 **Play Music**：音楽を再生します。

 **Play ストア**：Google Playを利用できます。→P89

 **Playムービー & TV**：映画をレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。

 **PowerPoint**：Android向けのMicrosoft PowerPointアプリです。

 **Twitter**：Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

 **ULTIASオススメ機能**：選べるキーボード、フリック学習モード、ATOKキーワードExpress（有効にする、ジャンルの選択、更新を通知、今すぐ受信、自動受信、受信間隔、Wi-Fi接続時のみ受信）を設定します。→P42

 **Word**：Android向けのMicrosoft Wordアプリです。

 **YouTube**：YouTube™の動画を再生できます。

 **アルバム-Scene**：カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生できます。→P110

 **あんしんスキャン**：ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。

 **遠隔サポート**：「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P190

 **おサイフケータイ**：お店などの読み取り機に端末をかざすだけでお支払いなどができます。→P91

 **おすすめアプリ**：ホームアプリが「NX!ホーム」と「NX!ホーム シンプル」に設定されている場合に表示されます。ドコモがおすすめするアプリをインストールできます。→P62

 **音声検索**：端末に向かって話すだけでGoogle検索が利用できます。→P118

 **カメラ**：静止画や動画を撮影します。→P102

 **カレンダー**：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。

 **虹彩認証体験**：虹彩認証を体験するアプリです。

 **災害用キット**：災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。→P84

 **しゃべってコンシェル**：話しかけるだけであなたの意図を読み取り、天気や乗換情報を調べたり、電話発信やアラーム設定などが簡単にできます。また、豊富なキャラクターとの会話もお楽しみいただけます。

 **スケジュール**：スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。iコンシェルに対応しています。→P115

 **設定**：本端末の各種設定を行います。→P122

 **ダウンロード**：サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。

 **データコピー**：機種変更時のデータ移行や、「microSDカード」もしくは「データ保管BOX」へのバックアップ・復元ができるアプリです。→P119

 **データ保管BOX**：データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。

 **テレビ**：フルセグ／ワンセグを視聴します。→P95

 **電卓**：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P117

 **電話**：電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです。→P65

 **時計**：アラーム、時計、タイマー、ストップウォッチ、世界時計が利用できます。→P116

 **ドコモ電話帳**：ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoのアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。→P75

 **ドコモメール**：ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。

dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→P78

 **ライブ**：本端末に保存されている写真や動画などをGoogle ドライブ™にアップロードして、複数のデバイスからアクセスできます。文書を作成して共有したり、編集したりできます。

 **取扱説明書**：本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

 **トルカ**：お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。→P95

 **パーソナルノート**：ID（アカウント）やパスワードなどの認証情報を登録して管理します。→P153

 **はなして翻訳**：お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。

 **ファイルマネージャー**：本端末やmicroSDカードなどのデータを管理できるアプリです。→P166

 **フォト**：写真の閲覧や加工ができます。またGoogleのクラウドに保存することもできます。

 **フォトコレクション**：写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。

 **マイマガジン**：ホームアプリが「NX!ホーム」と「NX!ホーム シンプル」に設定されている場合に表示されます。お客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。→P63

 **マクドナルド**：マクドナルドの公式アプリです。店舗で使えるクーポンや最新情報の取得ができます。

 **マップ**：現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などをを行うことができます。→P115

 **マネレコ**：銀行口座の残高やクレジットカードの明細などをまとめて確認できる家計簿アプリです。

 **メッセージ**：SMSの送受信ができます。→P78

▣ メモ：メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。iコンシェルに対応しています。

▣ らくらく写真転送 for arrows：らくらくスマートフォン4（F-04J）と本端末、または本端末同士を合わせるだけで、らくらくスマートフォン4で撮影した写真や動画を本端末に簡単に転送して大画面で楽しむことができます。

✓お知らせ

- このプリインアプリ一覧は、お買い上げ時でホーム画面またはアプリ一覧画面に表示されているものです。
- プリインアプリによっては、別途お申し込み（有料）が必要なものがあります。
- プリインアプリによっては、アンインストールできる場合があります。アンインストールしてもPlayストアなどで再度ダウンロードできる場合があります。→P89
- プリインアプリによっては、初回起動時にPlayストアやドコモのサイトにアクセスしてインストールが必要な場合があります。

◆ アプリ一覧画面の管理

1 アプリ一覧画面表示中に目的の操作を行う

アプリの無効化：アプリをロングタッチして【アプリ無効化】までドラッグ→【無効にする】→【無効にする】

アプリのアンインストール：アプリをロングタッチして【アンインストール】までドラッグ→【OK】

アプリの並べ替え：アプリをロングタッチして移動先までドラッグ

◆ おすすめアプリのインストール

[おすすめ] ボタンをタップすると、ドコモがおすすめするアプリが表示されます。

1 ホーム画面で[+]→[おすすめ]

- 初回起動時はおすすめアプリの確認画面が表示されます。内容を確認して【おすすめアプリを見る】をタップし、説明画面で[X]／【おすすめアプリ一覧へ】をタップするとおすすめアプリの一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知もONになります。

2 アプリを選択→画面の指示に従ってダウンロードを行う

✓お知らせ

- おすすめアプリ一覧で[?]をタップすると、「通知設定」でおすすめアプリの通知のON／OFFを切り替えられます。

◆ すべてのアプリを表示

アプリを検索する機能です。

1 ホーム画面で[+]→[すべてのアプリを表示]

すべてのアプリが一覧になったページが表示されます。そのページでアプリをタップするとアプリが起動します。[?]をタップすると、アプリのある画面に遷移し、アイコンにフォーカスが当たった状態で表示されます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- ・ホーム画面のバックアップ／復元を行うには、dアカウントの設定が必要です。

◆ ホーム画面のバックアップ

- 1 ホーム画面で [■] → [⋮] →[配置のバックアップと復元]

- 2 [□] →[バックアップ]

◆ ホーム画面の復元

- 1 ホーム画面で [■] → [⋮] →[配置のバックアップと復元]

- 2 [最新のバックアップデータを復元]→[復元する]

一覧からデータを復元：[バックアップデータ一覧から復元]→データを選択→[復元]→[復元する]

✓お知らせ

- ・アイコンやウィジェットによっては復元されない場合があります。また、ホーム画面の最終ページにドコモサービスが追加されない場合もあります。

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

◆ 記事の見かた

- 1 ホーム画面で [□]

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

- ・初回設定時はマイマガジンの説明画面が表示され、ジャンルを選択することができます。内容を確認して[OK]をタップします。
- ・ホーム画面を上方向へフリックしてもマイマガジンを表示できます。
- ・Twitter連携や情報のご利用についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- ・左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。

- 2 読みたい記事をタップ

◆ ジャンル設定

マイマガジンで表示したい情報のジャンルを選択できます。

1 ホーム画面で■

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

2 ■→[表示ジャンル設定]→ジャンルを選択

✓お知らせ

- 記事一覧画面で■をタップすると、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認できます。

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXの提供者やバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で■→■→[アプリ情報]

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合には、アプリケーション情報画面に [今すぐアップデート] ボタンが表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートします。

電話

電話／ビデオコールをかける

1 ホーム画面で

2 [ダイヤル]→電話番号を入力

- ・電話番号を訂正する場合はをタップします。
発信者番号通知 : → [発信者番号通知] → [通知する] / [通知しない]
・発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

プレフィックス選択 : → [プレフィックス選択] → [プレフィックスを選択]

- ・あらかじめ、「プレフィックス設定」(→P72)で登録した番号（プレフィックス）を選択して、電話番号の先頭に付加します。

2秒間の停止を追加／待機を追加 : → [2秒間の停止を追加] / [待機を追加] → [追加番号を入力]

- ・銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要がある場合、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するために使用します。

2秒間の停止「.」：メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから追加番号をダイヤルします。

待機「.」：メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し追加番号の確認メッセージが表示されます。[はい]をタップすると追加番号をダイヤルします。

3

ビデオコールをかける : → [ビデオコール]

4 通話が終了したら[終了]

✓お知らせ

- ・VoLTEは、音声通話やビデオコールを高品質でご利用いただけます。

VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。

- VoLTE対応機種であること
- VoLTE利用可能エリアであること
- モバイルネットワーク設定の「ネットワークモード※1」が「4G/3G/GSM（自動）」、「通話モード設定※2」がONであること

VoLTE（HD+）は、通話やビデオコールの音声がVoLTEよりさらに高音質でご利用いただけます。

VoLTE（HD+）のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、自分と相手がVoLTE（HD+）対応機種である必要があります。

※1 ホーム画面で → [設定] → [無線とネットワーク] → [もっと見る] → [モバイルネットワーク] → [ネットワークモード]で設定できます。

※2 ホーム画面で → [設定] → [無線とネットワーク] → [もっと見る] → [モバイルネットワーク] → [通話モード設定]で設定できます。

- ・ビデオコールは、お互いの映像を見ながら通話ができます。また、音声通話とビデオコール間で切り替えられます。

- ビデオコールの発信時は音声通話料およびパケット通信料がかかります。また、着信時にもパケット通信料がかかります。

- 映像はベストエフォート通信（通信の混雑具合に応じた最適速度となる）のため、通信環境により品質は異なります。
- 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、画面上にビデオコールへの切り替えが失敗した旨が表示され、音声通話が継続されます。
- ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。
- ・ 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- ・ 本端末にイヤホンを挿入している場合、またはスピーカーフォンで通話をっている場合は、近接センサーを停止します。そのため、近接センサーに顔などが近づいてもディスプレイの表示は消えません。
- ・ 通話中に髪の毛の上から受話口／スピーカーを当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、通話が遮断される場合があります。
- ・ 「発信者番号通知」(→P71) で通知／非通知を一括設定できます。
- ・ 通話中にプッシュ信号を送信する場合は、「通話中の操作」をご覧ください。→P68

◆緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- ・ 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。

なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することができます。

- ・ 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていること、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。

- ・かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- ・日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中、ソフトウェア更新中は緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- ・海外で110番、119番、118番を発信すると緊急呼通話中画面が表示される場合がありますが、通常発信されています。

- 着信拒否設定が有効な状態で緊急通報を行うと、着信拒否設定は無効に変更されます。
- 通信事業者によってはVoLTE緊急通報が利用できない場合があります。その場合は、「通話モード設定」(→P65)をOFFにしてください。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは緊急通報を行うことはできません。

◆国際電話（WORLD CALL）

「+」を入力して国際電話をかけます。[0]をロングタッチすると「+」が入力されます。

- 海外でのご利用については、「国際ローミング（WORLD WING）の概要」をご覧ください。→P177
- WORLD CALLの詳細は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で [通話] →[ダイヤル]→[0]をロングタッチ→「国番号・地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号」を入力→ [通話]

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「+国番号」を入力する場合は、地域番号（市外局番）と電話番号を入力し、 $\text{⋮} \rightarrow$ [国際電話発信] →国を選択→ [WORLD CALL] をタップします。

電話／ビデオコールを受ける

◆音声電話を受ける

〈例〉スリープモード中に電話がかかってきた場合

1 電話がかかってくる

着信画面（全画面）が表示されます。

- 着信音、バイブレータの動作を止めるには、 $\text{④}/\text{音量キー}$ を押します。

2 $\text{[通話]} \rightarrow$ [応答]

着信拒否 : $\text{④} \rightarrow$ [拒否]

応答拒否SMS送信 : $\text{④} \rightarrow$ [拒否してSMS送信] →
メッセージを選択

伝言メモ録音 : $\text{④} \rightarrow$ [伝言メモ]

3 通話が終了したら[終了]

◆ビデオコールを受ける

〈例〉スリープモード中に電話がかかってきた場合

1 電話がかかってくる

着信画面（全画面）が表示されます。

- ・着信音、バイブレータの動作を止めるには、①／音量キーを押します。

2 ④→[ビデオ応答]

音声通話で応答：④→[音声応答]

着信拒否：④→[拒否]

伝言メモ録音：④→[伝言メモ]

3 通話が終了したら[終了]

✓お知らせ

- ・ホーム画面表示中やアプリ起動中に着信すると、画面上部に着信画面が表示されます。応答し、通話を終了すると通話前の画面に戻ります。なお、着信画面で着信相手の名前または電話番号をタップすると、着信画面（全画面）を表示できます。
- ・電話に出られなかったときは、ステータスバーに通知アイコン（→P48）が表示されます。通知パネル（→P49）を開いて不在着信を確認したり、電話発信やSMSを送信したりできます。
- ・音声電話がかかってきた際に、本端末を耳にあてるだけで電話を受けられます。本端末を利用する場合は「スク電設定」（→P72）をONにしてください。なお、ビデオコールではご利用いただけません。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

- ・発信中／通話中に音量キーで、通話音量の調節することができます。



①名前や電話番号

②通話を終了

③ダイヤル入力のダイヤルパッドを表示

プッシュ信号（DTMFトーン）を送信します。

④ミュートをON/OFF

⑤通話時間

⑥スピーカーフォンをON/OFF

- ・Bluetooth機器を接続している場合は、音声の出力先を切り替えることができます。

⑦ ビデオコールに切り替え

タップすると、相手の端末にビデオコールに切り替えるかの選択画面が表示されます。許可されると、ビデオコールに切り替えられます。

- ・ビデオコール通話中に音声通話に切り替える場合は、 → [音声切替] をタップします。

⑧ サブメニューの表示

音声通話中：はっきりボイスのON／OFF、通話の保留

※／保留解除、キャッチホンを利用して別の相手との通話を追加の操作ができます。

ビデオコール通話中：音声通話に切り替え、ダイヤルキー表示、音声出力先の切り替え、自映像と相手映像の映像エリア切り替えの操作ができます。

※ 保留をご利用いただく場合は、キャッチホン契約が必要です。

⑨ 相手の映像

- ・相手の映像を受信できない場合や、別の画面に切り替えてカメラ機能がOFFになった場合は、 が表示されます。
- ・画面をタップすると、相手の映像の全画面表示／通常画面表示を切り替えることができます。

⑩ 自分の映像

⑪ 送信映像カメラの切り替え

相手に送信する映像を撮影するカメラ（インカメラ／アウトカメラ）を切り替えます。

✓お知らせ

- ・はっきりボイスをONにすると、相手の聞こえにくい声を強調したり、受話音を整えたりして聞き取りやすくします。
- ・ミュートをONにすると、自分の声が相手に聞こえないようにします。
- ・キャッチホンをご契約の場合は、音声通話中に → [通話を追加] をタップして別の相手に電話をかけることができます。
- ・スピーカーフォンをONにすると、相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話ができます。
- ・Bluetooth機器などを接続しているときにビデオコール通話中の音声の出力先を切り替えるには、 → [音声出力先切替] → 音声出力先を選択します。
- ・ビデオコール通話中に、別の画面に切り替えたために通話中画面が表示されない場合は、相手に自分の映像が送信されません。
- ・キャッチホン利用中などのマルチ接続中は、はっきりボイスの状態表示は表示されません。
- ・はっきりボイスはビデオコールには対応していません。

発着信履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 ホーム画面で

2 【履歴】



①すべてタブ

発着信履歴のすべてを表示します。

②名前や電話番号

タップして音声電話発信、SMS送信、ビデオコード発信、電話帳登録またはプロフィール画面の表示などを行います。ロングタッチすると、電話番号を編集して発信、履歴からの削除などができます。

③着信タブ

着信履歴のみを表示します。

④発信タブ

発信履歴のみを表示します。

⑤音声電話発信ボタン

音声電話を発信します。

⑥履歴内容

「発信」／「着信」／「不在着信」が表示されます。
・発着信履歴には、音声通話またはビデオコールの区別は表示されません。

⑦発着信日時

✓お知らせ

- ・発着信履歴の最大表示件数は500件です。

◆発着信履歴の削除

1 履歴画面で：→【履歴削除】

2 削除する履歴にチェック→【削除】→【削除】

- ・[全選択]にチェックを付けると、全件削除できます。

伝言メモ

伝言メモの設定や録音した伝言の再生／削除を行います。
・ビデオコールを伝言メモで応答すると、自動的に音声通話に切り替わり、映像は録画されませんのでご注意ください。

1 ホーム画面で [] → [] → [通話設定] → [伝言メモ]

2 各項目を設定

伝言メモ：伝言メモのON／OFFを設定します。

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、設定を有効にしていても伝言メモで応答しません。

伝言メモリスト：録音した伝言メモのリストを表示します。伝言メモを選択→ [] をタップすると伝言が再生されます。

- 伝言メモをロングタッチ→ [1件削除] → [はい] をタップすると伝言が1件削除されます。伝言メモがない旨のメッセージが表示された場合は [OK] をタップしてください。

- 伝言メモのリストで [] → [全件削除] → [はい] → [OK] をタップすると伝言が全件削除されます。

- 伝言メモは1件あたり最長60秒、最大10件録音できます。

伝言メモ設定：着信呼出時間や応答メッセージを設定します。

通話設定

ドコモのネットワークサービスや通話、インターネット通話に関するさまざまな設定を行います。

1 ホーム画面で [] → [] → [通話設定]

2 各項目を設定

ネットワークサービス：次のドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

留守番電話サービス^{※1}：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。

転送でんわサービス^{※1}：サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。

キャッチホン^{※1}：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

発信者番号通知：通知設定を行います。

迷惑電話ストップサービス：登録、削除、登録件数の確認、詳細設定を行います。

番号通知お願いサービス：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

着信通知：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

英語ガイド：設定、設定確認を行います。

遠隔操作設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

海外設定：設定方法→P181

着信音：電話着信音を設定します。

着信バイブレーション：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかを設定します。

- ・マナーモード中は設定できません。

ダイヤルパッド操作音：ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかを設定します。

伝言メモ：設定方法→P71

着信拒否設定：着信拒否に関する設定を行います。

- ・次の各項目をタップして着信拒否を設定できます。

登録外着信拒否：電話帳に未登録の着信を拒否するかを設定します。

非通知着信拒否：非通知の着信を拒否するかを設定します。

公衆電話着信拒否：公衆電話からの着信を拒否するかを設定します。

通知不可能着信拒否：電話番号を通知できない電話からの着信を拒否するかを設定します。

番号指定拒否：指定した電話番号からの着信とSMSを拒否します。

応答拒否SMS：着信時に利用できる応答拒否SMSの編集を行います。

サブアドレス設定：電話番号に含まれる「*」をサブアドレスの区切りとするかを設定します。

プレフィックス設定：電話発信時に電話番号の先頭に付加する番号を設定します。

スグ電設定：設定方法→P72

ドコモへのお問合せ：「ドコモ故障問合せ」「ドコモ総合案内・受付」「海外紛失・盗難等」「海外故障」のお問合せ窓口へ発信します。

通話アカウント：インターネット通話（SIP）アカウントやSIP通話の使用などを設定します。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

オフィスリンク設定^{※2}：オフィスリンクの保留転送を利用するための設定を行います。

※1 ビデオコールではご使用いただけません。

※2 オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

✓お知らせ

- ・通話設定はホーム画面で $\square \rightarrow [設定] \rightarrow [便利機能] \rightarrow [電話] \rightarrow [通話設定]$ をタップしても設定できます。
- ・ホーム画面で $\square \rightarrow [設定] \rightarrow [便利機能] \rightarrow [電話] \rightarrow [あわせるボイス]$ をタップして、通話音声を自動で聞き取りやすく調整するように設定できます。
- ・ホーム画面で $\square \rightarrow [設定] \rightarrow [便利機能] \rightarrow [電話] \rightarrow [電源ボタンで通話を終了]$ にチェックを付けると、 \square を押して通話を終了することができます。ただし、スリープモード中は \square を押しても通話を終了できませんのでご注意ください。

◆スグ電設定

モーションおよび音声キーワードだけで電話の操作ができる「スグ電」の設定を行います。

- ・ビデオコールには非対応ですが、着信時名前表示のみ対応しています。

1 ホーム画面で $\square \rightarrow : \rightarrow [通話設定]$

2 [スグ電設定]

3 各項目を設定

応答：端末を耳に当てることで応答できるかを設定します。

切断（モーション）：通話中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで切断できるかを設定します。

切断（音声）：通話中に切断キーワードを発した後に端末を耳から離すことで切断できるかを設定します。

発信^{※1}：ホーム画面で端末を1回振ってから耳に当てることで、あらかじめ登録した相手、または発着信履歴に登録された相手に発信できるかを設定します。

消音・拒否：着信中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで着信音を消音・拒否できるかを設定します。「消音」「拒否」「拒否してSMS送信」から選択できます。

発信ランキング：発信回数の多い相手の確認ができます。

着信時名前非表示^{※2}：着信時に端末を動かすまで相手の名前を表示しないかを設定します。

利用情報の送信：利用情報を送信するかを設定します。

ローミング時スグ電無効^{※3}：海外渡航時にスグ電をOFFにするかを設定します。

※1 発信は、ホーム画面表示中またはロック画面（セキュリティ解除方法が「タッチ／スワイプ」の場合のみ）表示中に操作ができます。

※2 音声電話とビデオコールの着信画面（全画面）でのみ有効です。その他の画面では相手の名前が非表示にならない場合があります。

※3 スグ電機能は海外では自動で無効になります。海外でご使用の場合はスグ電設定より、ローミング時スグ電無効をOFFにしてからお使いください。

✓お知らせ

- ・スグ電音声機能の提供には音声認識技術や言語処理技術を用いておりますが、当社はそれらの技術の精度などについて何らの保証をするものではありません。
- ・発声時にスマートフォンとの距離が遠すぎたり発声時の音量が小さすぎたり、また騒音下で発声した場合などは音声認識ができない場合がございます。
- ・次の場合は、スグ電を利用できません。
 - スピーカーフォン利用時
 - イヤホンやヘッドセット、通話機能を持つBluetooth機器の利用時
 - 通話中にさらに発信を行ったり、着信したとき
 - 寝ている体勢のとき
 - 走る、階段の上り下りをするなど激しい運動をしているとき
 - ブックタイプのスマートフォンケースなどでディスプレイを覆っているとき
- ・[スグ電設定] をONにしているとき、着信中に画面が点灯したままバッグやポケットに入れると、まれにモーションが実行されたとみなされ、応答または切断される場合があります。
- ・近接センサーは黒いものに反応しにくい特性があります。(応答をする際) 髪の毛の上から受話口をあてている場合、近接センサーが正常に動作しにくいため、電話に応答できない場合があります。その場合は耳に直接受話口をあててください。(切断／拒否をする際) 黒い机などの上で本端末を裏返すと反応しない(切断／拒否されない)場合があります。その場合は直接置かず、机などから1cm程度浮かせるように本端末を裏返すと反応(切断／拒否)します。

- ・スグ電（応答）機能は、モーション判定の1つとして近接センサーを使用しています。近接センサー（→P28）が、汚れたまま使用すると、正しく応答できずに耳の近くで大きな音が聞こえることがあり、難聴などの原因になりますので定期的に清掃してください。
- ・スグ電設定の【切断】をONにして、切断動作（モーション／切断キーワード）が実行されると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
 - 相手が保留中の場合
 - 相手が伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中）
- ・端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、消音・拒否や切断される場合があります。
- ・切断する際に、端末を下向きに置く動作が速いと反応しない（切断できない）場合があります。その場合は、動作をゆっくり行うと反応（切断）します。
- ・音声終話をONにしている状態で通話している時は、他のマイクを利用するアプリや通話中の音声を利用するアプリ（例：通話録音アプリ）は使用できないことがございます。通話中にご利用になりたい場合は、終話後に切断（音声）をOFFにすることで利用可能になります。
- ・伝言メモ、音声メモの起動中（応答メッセージの再生中／伝言メモの録音中）は、音声での切断ができません。伝言メモの録音中に電話に出た場合には、音声での切断が可能になります。
- ・本端末は受話口から着信音が鳴ります。スグ電（応答）機能利用時は、端末を傾けた（持ち上げる）場合や端末が耳の近くにあることを検知した場合は適切な音量に変更されますが、検知しない場合などには耳の近くで大きな音が聞こえることがありますので、着信音量を適切に設定してご使用ください。音量が大きすぎると難聴などの原因となります。着信音量は、ホーム画面で  → [設定] → [画面・音・アプリ] → [音] → [着信音の音量] で設定できます。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを登録できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

- 電話帳でクラウドを利用するには、ドコモ電話帳アプリが必要となります。ドコモ電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」の画面が表示され、クラウドの利用開始ができます。
- ユーザー やゲストが利用できる機能を利用している場合、ゲストはドコモ電話帳のクラウドサービスに関わるすべての機能が使用できません。

1 ホーム画面で[ドコモクラウド]→[ドコモ電話帳]

2 [連絡先]

電話帳リストが表示されます。



①名前

タップしてプロフィール画面を表示します。プロフィール画面では電話発信、SMS送信などができるます。

②検索

連絡先の検索ができます。

③登録→P75

電話帳を新規登録します。

④クラウドへのログイン／ログアウト

⑤サブメニューの表示

連絡先削除、クラウドメニュー、SDカード／SIMカード／共有、設定、ヘルプ、連絡先登録件数、アプリケーション情報表示の操作ができます。

⑥インデックス

インデックスを表示します。五十音順、アルファベット順などで検索ができます。

◆電話帳を登録

1 電話帳リストで[登録]→各項目を設定→[登録完了]

- クラウドと同期できるのは、docomoのアカウントで登録した連絡先データです。
- Googleアカウントを登録している場合は、アカウント欄の「[設定]」をタップしてGoogleアカウントを選択できます。

✓お知らせ

- 電話の発着信履歴から電話帳を登録することもできます。

◆電話帳の編集

- 1 電話帳リストで連絡先を選択→[編集]→各項目を編集→[登録完了]

◆電話帳の削除

- 1 電話帳リストで削除する連絡先を選択→⋮→[削除]→[OK]

- ・電話帳リストで⋮→[連絡先削除]をタップすると、連絡先を選択して削除できます。[全選択]にチェック→[決定]→[OK]をタップすると、全件削除できます。

◆グループの利用

- 1 電話帳リストで[グループ]

- 2 [グループ追加]→各項目を設定→[OK]

グループの並べ替え：[並べ替え]→グループリストでグループをタップして上下にスライド→[決定]

グループの編集：グループリストでグループをタップ→[編集]→各項目を設定→[OK]

- ・グループリストでグループをロングタッチ→[グループ編集]をタップしても編集できます。

グループの削除：グループリストでグループをロングタッチ→[グループ削除]→[OK]

- ・グループリストで⋮→[グループ削除]をタップすると、グループを選択して削除できます。

✓お知らせ

- docomoのアカウントのグループのみ並べ替えができます。

◆連絡先のグループ登録

- 1 電話帳リストで[グループ]

- 2 グループを選択→[メンバー追加]→追加する連絡先にチェック→[決定]→[OK]

グループ登録の解除：グループを選択→[メンバー削除]→削除する連絡先にチェック→[決定]→[OK]

◆プロフィール画面の表示

- 1 電話帳リストで名前を選択

プロフィール画面が表示されます。



① アカウントアイコン

② 電話帳に設定された画像と名前

③ 登録情報

項目をタップすると電話発信やEメール送信などができます。ロングタッチするとオプションを表示します。

④ お気に入り

「お気に入り」に追加されます。

⑤ 音声電話発信ボタン 音声電話を発信します。

✓お知らせ

- ・プロフィール画面で : をタップすると、共有などの操作ができます。
- ・「お気に入り」に登録した電話帳を表示するには、電話帳リストで [グループ] → [お気に入り] をタップします。

◆電話帳のインポート／エクスポート

1 電話帳リストで : → [SDカード／SIMカード／共有] → 項目を選択

SIMカードから復元：電話番号、メールアドレスの種別は「その他」としてインポートされます。

SDカードへバックアップ／復元：ドコモデータコピーアプリを使用して、電話帳やその他のデータを microSDカードなどに、一括でバックアップ／復元することができます。→P119

全件データ送信（共有）：電話帳の全件データのエクスポートデータ (.vcf) が作成されますので、通知パネルを開いて「連絡先のエクスポートの完了 タップして連絡先を共有してください。」の通知をタップします。共有するためのBluetooth通信やメールなどのアプリを選択して送信の操作を行います。

※ アプリによっては対応していない場合もあります。

✓お知らせ

- ・本端末から i モード端末へBluetooth通信で電話帳全件送信を行うと、正常にデータが移行できません。

◆マイプロフィール

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を登録したり編集したりできます。

1 ホーム画面で[ドコモクラウド]→[ドコモ電話帳]

2 [マイプロフィール]

3 [編集]→各項目を設定→[登録完了]

- ・マイプロフィール一斉送信を行う場合は、: → [マイプロフィール一斉送信] をタップし、以降は画面の指示に従って操作してください。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で☒

以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージ (SMS)

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス(SMS)」をご覧ください。

◆ SMSを作成して送信

1 ホーム画面で☒→[メッセージ]

2 [新規作成]→携帯電話番号を入力→[確定]

- 電話番号やふりがなを入力すると、電話帳で一致する連絡先が表示され、選択することができます。

3 [メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

✓お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコン（→P48）が表示されます。通知パネル（→P49）を開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✓お知らせ

- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、SMSの通知の設定に関わらず着信音やバイブレーターが鳴動しない場合があります。
- 本端末のメモリの空き容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリを削除するなどして、メモリの空き容量を増やしてください。→P90、P140

◆ 送受信したSMSの表示

1 ホーム画面で[メッセージ]→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択

- [発信] をタップして電話をかけることができます。

◆ SMSに返信

1 ホーム画面で[メッセージ]→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

◆ SMSを転送

1 ホーム画面で[メッセージ]→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[転送]

3 携帯電話番号を入力→[確定]→[送信]

- 電話番号やふりがなを入力すると、電話帳で一致する連絡先が表示され、選択することができます。

◆ SMSを削除

1 ホーム画面で[メッセージ]→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[削除]→[削除]

✓お知らせ

- メッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッドをロングタッチ→[削除]→[削除]をタップします。
- すべてのメッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッド画面で[メニュー]→[すべてのスレッドを削除]→[削除]をタップします。

◆ SMSの設定

- 1 ホーム画面で [メッセージ] → [メニュー] → [設定]

2 各項目を設定

SMSが有効：デフォルトのSMSアプリを変更します。

古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したら古いメッセージを削除するかを設定します。

テキストメッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。

バックアップ：本体とmicroSDカード間でメッセージをコピーします。

受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回要求するかを設定します。

SIMカードのメッセージ：ドコモnanoUIMカードに保存したメッセージを管理します。

通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知するかを設定します。

着信音：メッセージ受信時の着信音を設定します。

バイブレーション：メッセージ受信時に本端末を振動させるかを設定します。

LED：メッセージ受信時のお知らせLEDの色を設定します。

メッセージセンター番号：メッセージセンター番号を設定します。

- 通常は設定を行う必要はありません。

✓お知らせ

- SMSの設定画面で [メニュー] → [初期設定に戻す] をタップすると、お買い上げ時の設定に戻ります。

NX!メール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) や、一般的プロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

- SMSも利用することができます。

◆ Eメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面で [NX!メール]

2 [ドコモメール] / [GOOGLEアカウント] / [その他のアカウント] / [EXCHANGE アカウント]

以降は画面の指示に従って操作し、メールアドレスやパスワードなどを入力してメールアカウントの設定をしてください。

✓お知らせ

- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、フォルダ一覧画面で [メニュー] → [設定] → [アカウント設定] → [新規アカウント追加] をタップして操作します。
- すでにExchangeアカウントが設定済みで、さらに別のExchangeアカウントを追加する場合は、フォルダ一覧画面で [メニュー] → [Exchange設定] → [アカウントを追加] をタップして操作します。

◆ Eメールを作成して送信

1 ホーム画面で→[NX!メール]

- ・フォルダ一覧画面が表示されます。
- ・フォルダを起動画面に設定（→P82）している場合は、設定中のフォルダのメール一覧画面が表示されます。

2 [新規作成]

- ・Exchangeアカウントとその他のアカウントを同時に設定している場合は、[EXCHANGEメールを作成]／[その他のメールを作成]をタップします。
- ・複数のメールアカウントがある場合は、「差出人」欄をタップ→使用するメールアカウントをタップして切り替えます。

3 宛先欄にメールアドレスを入力

- ・宛先を追加する場合は、宛先を入力した後に表示される宛先欄の下の欄に、メールアドレスを入力します。

4 件名欄に件名を入力

5 メッセージ入力欄にメッセージを入力

6 [送信]

✓お知らせ

- ・Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

- ・サービスプロバイダによっては、「OP25B (Outbound Port 25 Blocking)：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。

◆ Eメールの受信／表示

1 ホーム画面で→[NX!メール]

2 [メニュー]→[更新]

3 フォルダ一覧画面でフォルダを選択→Eメール一覧でEメールを選択

◆ Eメールに返信

1 Eメールを表示

2 [返信]

全員に返信：[全員に返信]

3 メッセージを入力→[送信]

◆ Eメールを転送

1 Eメールを表示

2 [メニュー]→[転送]

3 メールアドレス／メッセージを入力→[送信]

◆ Eメールを削除

- 1 ホーム画面で[Eメール]→[NX!メール]
- 2 フォルダ一覧画面でフォルダを選択→Eメール一覧で削除するEメールをロングタッチ→[削除]→[OK]

◆ フォルダ一覧画面の操作

1 フォルダ一覧画面を表示

フォルダ内のメール一覧画面を表示：メール一覧画面を表示したいフォルダをタップ

フォルダを新規作成：[「フォルダ新規作成」]→[電話帳のグループからフォルダを作成]／[自分で設定してフォルダを作成]→項目を設定→[完了]

フォルダを並べ替え：並べ替えたいフォルダをロングタッチ→移動したい位置までドラッグ

フォルダを起動画面に設定：起動画面に設定したい

フォルダをロングタッチ→[起動画面に設定]

- NX!メールを起動したときに、設定したフォルダ内のメール一覧が表示されます。

- 起動画面を解除したい場合は、解除したいフォルダをロングタッチ→[起動画面を解除]をタップします。

作成したフォルダを編集：編集したいフォルダをロングタッチ→[編集]→フォルダの項目を設定→[完了]

作成したフォルダを削除：削除したいフォルダをロングタッチ→[削除]→[OK]

メニューを表示：[メニュー]

メールの更新、アカウントの編集、Eメールのバックアップ／復元、メールの設定などの操作ができます。

◆ Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

◆ NX!メール全般の設定

1 フォルダ一覧画面で[メニュー]→[設定]

2 各項目を設定

着信設定：メール着信時の動作を設定します。

アカウント設定：アカウントの追加や設定をします。
→P83

レイアウト変更：フォルダ一覧画面のレイアウトを設定します。

マーク：受信メールに付けられるマークを設定します。

- マークは最大3個設定できます。

フォルダ表示：保護／未分類／SMSフォルダを表示するかを設定します。

署名：署名を設定します。

SMS：デフォルトで使用するSMSアプリを設定したり、SMS着信時の動作などを設定します。

その他：返信時に引用を行う、返信画面で返信元メール／SMSの表示を行う、メール送信中画面の表示を行う、Eメールのバックアップ先の変更などの、NX!メールに関する他の設定をします。

✓お知らせ

- [情報] をタップするとNX!メールのバージョンやメールの保存件数、使用ライセンスを確認できます。

❖ NX!メールのアカウント設定

- ・設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。

〈例〉IMAPのアカウントを設定する

1 フォルダー一覧画面で[メニュー]→[設定]→[アカウント設定]

アカウント一覧画面が表示されます。

2 IMAPのアカウントを選択→各項目を設定

表示アカウント名：アカウント名を編集します。

アイコン変更：アカウント名の横に表示されるアイコンを変更します。

送信メールの表示名：Eメールを送信した相手に表示される表示名を編集します。

既定の送信アドレス：チェックを付けたアカウントを、新規メール作成時にデフォルトで使用します。

受信間隔：Eメールの受信間隔を設定します。

メールアドレス編集：通常は設定変更できません。

受信メールサーバー設定：受信メールサーバーを設定します。

送信メールサーバー設定：送信メールサーバーを設定します。

「全ての受信」に表示するフォルダ：選択したフォルダのメールを「全ての受信」に表示するかを設定します。

返信先アドレス：送信したアカウントとは別のメールアドレスに返信させたい場合に、返信先のメールアドレスを入力します。

着信音：メール受信時の着信音を設定します。

バイブレーション：メール受信時に本端末を振動させるかを設定します。

LED：メール受信時のお知らせLEDの色を設定します。

送信時の文字コード：Eメールの文字コードを設定します。

❖ お知らせ

- ・[受信間隔] に [プッシュ受信] を設定すると、電池の消費が早くなります。
- ・Eメールのアカウントを削除するには、アカウント一覧画面で削除するアカウントをロングタッチ→ [削除] → [OK] をタップします。

❖ Eメールのバックアップ／復元

■ バックアップする場合

1 フォルダー一覧画面で[メニュー]→[メールをバックアップ／復元]

- ・Exchangeはバックアップ対象外の旨の確認画面が表示された場合は、[OK] をタップします。

2 [メールをバックアップ]→[vmsg]／[eml]

3 バックアップ対象にチェック→[OK]→[OK]

■ 復元する場合

1 フォルダー一覧画面で[メニュー]→[メールをバックアップ／復元]

- ・Exchangeはバックアップ対象外の旨の確認画面が表示された場合は、[OK] をタップします。

2 [メールを復元]→アカウントを選択

3 復元先を選択→復元するデータにチェック →[OK]→[OK]

✓お知らせ

- ・バックアップ先は変更することができます。→P82

Gmail

Googleのメールサービスや一般的なプロバイダが提供するメールを利用できます。

- ・GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmailの表示

1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

- ・Gmailの詳細については、≡をタップまたは画面の左端を右にフリック→ [ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- ・エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- ・最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- ・次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 他社のSIMカードをご利用時
 - 音声通話中（VoLTEを利用した音声通話中を除く）
- ・端末のメモリの空き容量が少ないと、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- ・受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

◆緊急速報「エリアメール」の受信

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブルーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音 が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示さ れる

3 エリアメールの本文が表示される

❖受信したエリアメールを後で確認

1 ホーム画面で[+]→[災害用キット]

2 [緊急速報「エリアメール」]

3 エリアメール一覧から、任意のエリアメール を選択

❖エリアメールの削除

1 ホーム画面で[+]→[災害用キット]

2 [緊急速報「エリアメール」]

3 削除するエリアメールを選択→[削除]→ [OK]

◆緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 ホーム画面で[+]→[災害用キット]

2 [緊急速報「エリアメール」]

3 [...]→[設定]

4 各項目を設定

受信設定：エリアメールを受信するかを設定します。

着信音：専用ブザー音・専用着信音の鳴動時間や音量、マナーモード中でもブザー音・着信音を鳴らすかを設定します。

受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報（気象等に関する特別警報を含む）のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。

やさしい日本語表示：緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかを設定します。

翻訳・アプリ連携設定：受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかを設定します。

Chrome

「Chrome」アプリを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。

本端末では、バケット通信またはWi-Fiによる接続で「Chrome」アプリを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に傾けて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→P36）して見たい部分を表示します。

■ Webページの拡大／縮小

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

ダブルタップ：拡大します。

・拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

◆ Chromeを起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で

ホームページに設定しているWebページが表示されます。

- ・画面を下方向にスライドするとWebページの最上部にアドレスバーが表示され、URLやキーワードを入力することができます。

◆ 新しいタブを開く

複数のタブを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→

※開いているタブの数によって数字が異なります。

2

新しいタブが開き、Webページが表示されます。

切り替え：表示するタブをタップ

閉じる：閉じるタブの [X]

◆ シークレットタブでWebサイトを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、Webページを閲覧できます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮

2 [新しいシークレットタブ]

シークレットタブでWebページが表示されます。

- ・アドレスバーにURLやキーワードを入力します。
- ・シークレットタブで表示中は画面上部に🔒が表示されます。

- ・シークレットタブを閉じるには、Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→①※→シークレットタブの「[X]」をタップします。
※開いているタブの数によって数字が異なります。

✓お知らせ

- ・シークレットタブで開いたWebページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したWebページは保存されます。

◆履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[履歴]

2 Webサイトの履歴を選択

◆ブックマークを登録してWebサイトを表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→☆

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

ブックマークの右の⋮をタップすると、編集や削除などができます。

◆Webサイトのリンク操作

Webサイトに表示されているリンクをタップすると、次の操作ができます。

- ・リンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、リンクの保存やURLのコピーなどができます。

URLの場合：Webサイトを開きます。

電子メールアドレスの場合：メールを作成します。

電話番号の場合：電話番号に発信します。

ファイルの場合：ファイルを閲覧／保存します。

✓お知らせ

- ・保存したファイルは、ファイルマネージャーなどで確認できます。

◆Webサイトの画像をダウンロード

1 Webサイト表示中に画像を選択(ロングタッチ)→[画像をダウンロード]

- ・ダウンロードした画像は、アルバム-Scene(→P110)などで確認できます。

◆ Webサイトの文字列をなぞってコピー

1 Webサイト表示中に画面右下隅のスライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて[なぞってコピー]領域で指を離す

2 文字列を指でなぞる

- ・以降の操作は「なぞってコピー」をご覧ください。
→P53

◆ Webページを印刷

Wi-Fi対応プリンタやクラウドプリント機能を利用して表示しているWebページを印刷できます。あらかじめプリンタとの接続を設定しておきます。→P172

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[共有...]→[印刷]

- ・以降の操作は「印刷」をご覧ください。→P173

◆ Chromeの設定

検索エンジンやプライバシーなどの設定ができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[設定]

2 各項目を設定

Chromeにログイン：GoogleアカウントでChromeにログインします。

検索エンジン：Webページ検索するときに使用する検索エンジンを設定します。

自動入力とお支払い：自動入力の利用や、自動で使用する住所やクレジットカードの情報を設定します。

パスワードの保存：Webページに入力したパスワードを保存するかを設定します。

ホームページ：ホームページを設定します。

プライバシー：安全性や利便性についての設定をします。

ユーザー補助機能：文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。

サイトの設定：CookieやJavascriptなどサイトに関する設定をします。

データセーバー：データの使用量を抑えるようにするかを設定します。

Chromeについて：アプリのバージョンなど、Chromeに関する情報を確認できます。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

「Chrome」アプリが起動し、「dメニュー」が表示されます。

✓お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

dマーケットのトップ画面が表示されます。

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Playストア

Playストアを利用してGoogle Playのサイトへ接続すると、便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Playを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Playストアの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- Google Playの詳細については、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→【ヘルプとフィードバック】をタップしてヘルプをご覧ください。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆アプリのインストール

1 ホーム画面で[Play ストア]

Google Play画面が表示されます。

2 アプリを検索→アプリを選択

3 [インストール](無料アプリの場合)／[金額](有料アプリの場合)

- ・アプリによって表示される内容は異なります。
- ・アプリが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリにはご注意ください。この画面で【同意する】をタップすると、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。
- ・有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくは、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→【ヘルプとフィードバック】をタップしてヘルプをご覧ください。
- ・有料アプリをアンインストールする場合は、払い戻し画面が表示されることがあります。詳しくは、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→【ヘルプとフィードバック】をタップしてヘルプをご覧ください。

4 ダウンロードの進捗状況を確認

インストールが完了すると、ステータスバーに■が表示されます。

◆お知らせ

- ・アプリのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが起きる可能性があります。
- ・万が一、お客様がインストールしたアプリなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- ・お客様がインストールしたアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ・ホーム画面またはアプリ一覧画面にインストールしたアプリのアイコンが表示されます。
- ・インストールしたユーザー補助アプリは、ユーザー補助から有効にすることができます。→P163

◆Google Playのアプリの削除

1 Google Play画面で画面の左端を右にフリック→[マイアプリ&ゲーム]

2 アプリを選択

3 [アンインストール]→[OK]

- ・有料アプリで【払い戻し】が表示されない場合、試用期間が終了しています。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」をご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難・紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

◆おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

本端末の故障により、ICカード内データ^{※1}およびドコモnanoUIMカード内データ^{※2}が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができますので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

※ 1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

※ 2 ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ

- 機種変更前のドコモnanoUIMカードを引き続き使う場合でも、ドコモnanoUIMカード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモnanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

◆「おサイフケータイ対応サービス」の利用

1 ホーム画面で[おサイフケータイ]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

2 サービスを選択

3 サービスに関する設定を行う

- サービスのサイトまたはアプリから必要な設定を行います。

4 マークを読み取り機にかざす

✓お知らせ

- ・おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- ・本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- ・本端末のバッテリーセーバーやデータセーバーの設定にかかるわらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。→P141、P127
- ・インストールしているおサイフケータイ対応のアプリやその設定状態によっては、画面ロック中や画面消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。
- ・spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本端末の電源を入れた後および再起動後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

◆「かざしてリンク対応サービス」の利用

1 ホーム画面で[■]→[設定]→[無線とネットワーク]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

- ・NFC／おサイフケータイ ロック設定のパスワード設定画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパスワードを設定してください。
- ・[NFC／おサイフケータイ ロック]にチェックが付いている場合は、チェックを外します。
- ・ホーム画面で[■]→[おサイフケータイ]→[🔒／🔓]をタップしても「NFC／おサイフケータイ 設定」の画面を表示できます。

2 [Reader／Writer, P2P]にチェック

3 NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに□マークをかざす

- ・このほかにもAndroidビームを利用した端末同士の情報交換ができます。→P170

❖NFC／おサイフケータイ タイプ設定

利用するNFC Typeを選択します。

1 ホーム画面で[■]→[おサイフケータイ]

2 [🔒]→[NFC Type設定]

3 [FeliCa / Type A / Type B(標準)]／ [FeliCa / Type A]／[FeliCa / Type B]

◆ タップ&ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効・無効の設定ができます。

- ・タップ&ペイの詳細については、タップ&ペイ画面で【メニュー】→【ヘルプ】をタップしてヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で[設定]→[無線とネットワーク]

2 [NFC／おサイフケータイ 設定]→[タップ&ペイ]

タップ&ペイ画面が表示されます。

✓ お知らせ

- ・非常用節電モードの設定／解除を行うと、おサイフケータイ対応サービスの有効・無効設定が変更される場合があります。

非常用節電モードの設定／解除後に、おサイフケータイ対応サービスをご利用される場合はタップ&ペイでの設定を確認の上、読み取り機にかざしてください。→P38

◆ 対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。



- ・マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- ・マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- ・マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

◆おサイフケータイの機能をロック

ロックして、おサイフケータイのサービスや読み取り機からのデータの取得を利用できないようにします。

- おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で[■]→[おサイフケータイ]

2  [■]

- NFC／おサイフケータイ ロック設定のパスワード設定画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

3 [NFC／おサイフケータイ ロック]→認証操作

生体認証の利用：[生体認証を利用する]→認証操作

- 生体認証を利用するには、あらかじめセキュリティ解除方法の生体認証の設定が必要です。→P150

✓お知らせ

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーに[■]または[■]が表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイのロックパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。

- NFC／おサイフケータイ ロックの解除は、NFC／おサイフケータイ ロックの設定を行った際に取り付けていたドコモnanoUIMカードを本端末に取り付けた状態で行ってください。

◆ロックの解除

1 ホーム画面で[■]→[おサイフケータイ]

2  [■]

3 [NFC／おサイフケータイ ロック]→認証操作

◆iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は2種類まで登録できるので、特典などに応じて使い分けることができます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページ (<http://id-credit.com/>) をご覧ください。

◆トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メール、ウェブダウンロード、Bluetooth機能、ICタグなどさまざまな方法で取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報を更新できます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

✓お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- Bluetooth機能でトルカを取得する際には、トルカアプリのBluetooth機能をONにする必要があります。
- ICタグからトルカを取得する際には、本端末の「Reader／Writer, P2P」にチェックを付ける必要があります。→P170
- コンテンツ提供者の設定によっては、次の機能をご利用になれない場合があります。

更新、トルカの共有、地図表示、読み取り機からの取得

- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。
- 本端末のバッテリーセーバーやデータセーバーの設定にかかわらず、トルカアプリはトルカ取得に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。→P141, P127

• 端末起動後、画面ロックを解除するまでは、Bluetooth機能、ICタグ、読み取り機を利用したトルカは取得できない場合があります。

- 画面消灯中にBluetooth機能でトルカを受信した場合は、画面が点灯する場合があります。

テレビ（フルセグ／ワンセグ）

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリです。また、映像・音声と共にデータ放送を受信することができ、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。

- 「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、次のホームページをご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<http://www.apab.or.jp/>

◆フルセグ／ワンセグのご利用にあたって

- フルセグ／ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴するときは、テレビアンテナケーブル F01を十分に伸ばしてください。
→P96

- データ放送領域に表示される情報は、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なことがあります。

◆放送波について

フルセグ／ワンセグは、放送サービスの1つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

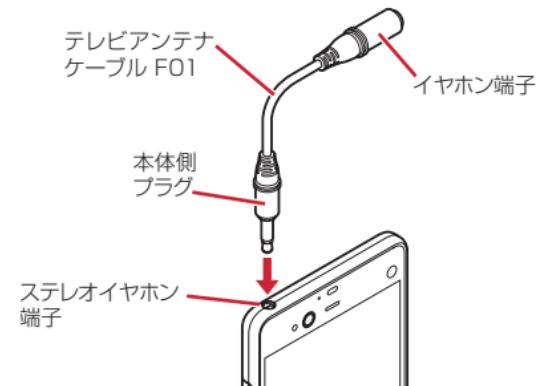
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

テレビアンテナケーブル F01を十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。→P96

■付属のテレビアンテナケーブル F01について

テレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴するときは、付属のテレビアンテナケーブル F01を接続して放送電波を受信します。

- テレビアンテナケーブル F01のプラグを本端末のステレオイヤホン端子に「カチッ」と音がするまで水平に差し込んでください。
- イヤホンをご利用になる場合は、市販のイヤホンなどのプラグ（直径3.5mm）をテレビアンテナケーブル F01のイヤホン端子に接続してください。



- テレビアンテナケーブル F01の端子が汚れていると接触が悪くなります。端子は乾いた綿棒などで拭いてください。清掃の際は端子が変形しないように十分ご注意ください。

◆テレビの起動

1 ホーム画面で■→[テレビ]

テレビ視聴画面が表示されます。

- ・初回起動時は、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P102
- ・お買い上げ時のフルセグ／ワンセグの視聴モードは、【自動】に設定されています。テレビ視聴画面でテレビ視聴エリア（→P97）をタップ→■をタップすると、視聴モードを切り替えることができます。
【自動】に設定中は、電波受信状況によりフルセグ／ワンセグが自動的に切り替わります。
- ・視聴モードは、画面上部の操作エリアで確認できます。

テレビの終了：□(バック)

✓お知らせ

- ・起動するときや、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は6%です（充電中は電池残量に関わらず、起動や動作の継続ができます）。
- ・テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- ・受信状態によって映像や音声が途切れたり、停止したりする場合があります。
- ・テレビ視聴時にホーム画面に戻った場合やスリープモードになった場合には、テレビの音声出力が続きます。テレビのバックグラウンド再生を終了するにはテレビ視聴画面に戻り、□(バック)をタップしてください。
- ・[動画補正]にチェックを付けると、ワンセグ視聴時に動画補正エンジンを使用して視聴できます。→P134

- ・テレビ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショットやキャプメモ／なぞってコピーは実行できません。

◆テレビ視聴画面について



テレビ視聴画面(フルセグ)

① 操作エリア

- ・視聴モード（フルセグ／ワンセグ）、視聴モード切り替え（自動／フルセグ固定／ワンセグ固定）、画面回転、メニューアイコンが表示されます。フルセグの場合は次のアイコンが表示されます。

□(データ)：データ放送を表示

□(リモコン)：リモコンを表示（横画面のみ）

- ・縦画面でフルセグ視聴時に□(データ)をタップしてデータ放送を表示した場合は、□(リモコン)をタップしてリモコンを表示すると、操作アイコンでデータ放送内の操作ができます。

② テレビ視聴エリア

- ・左右にフリックするとチャンネルを切り替えられます。

③ コントロールバー（フルセグのみ）

- アイコンをタップすると操作パネルエリアの表示が切り替わります。



リモコンを表示



チャンネル一覧を表示



番組情報を表示

④ 操作パネルエリア

- 表示内容はコントロールバーの各アイコンをタップすると切り替わります。
- ワンセグ視聴時はデータ放送が表示されます。データ放送内の操作をする場合は、画面をタッチ操作するか、操作パネルエリア下部に表示される操作アイコンをタップして行ってください。

⑤ チャンネル情報エリア

チャンネル名、テレビの電波強度、マルチ放送アイコン、番組名が表示されます。

⑥ ナビゲーションバー

⑦ コントローラー

/ : 録画開始／停止

/ : チャンネルを切り替え（ロングタッチでチャンネルサーチ）

・チャンネルサーチで未登録の放送局が見つかったときは、チャンネル一覧を表示→空きチャンネルをロングタッチ→[はい]をタップすると、チャンネルリストに追加できます。

: チャンネル一覧をポップアップ表示

✓お知らせ

- テレビ視聴画面で音量キーを押すと、音量を調節できます。
- 横画面では全画面表示となります。画面をタップすると操作エリア、チャンネル情報エリア、コントローラー、ナビゲーションバーが表示されます。

◆ テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

❖ テレビリンクの登録

1 データ放送領域でテレビリンク登録可能な項目を選択

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

❖ テレビリンクの表示

1 テレビ視聴画面で [] → [テレビリンク] → テレビリンクを選択 → [はい]

登録されたサイトに接続します。

❖ テレビリンクの削除

1 テレビ視聴画面で [] → [テレビリンク]

2 テレビリンクをロングタッチ → [削除] → [はい]

テレビリンクをすべて削除 : [] → [全件削除] → [はい]

◆ 視聴予約／録画予約

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 テレビ視聴画面で [録画／視聴予約]

予約一覧が表示されます。

2 [新規予約]

3 [番組表から]／[視聴予約]／[録画予約]

- 「番組表から」を選択した場合は、画面の指示に従って操作してください。

4 各項目を設定→[保存]→[はい]

- ユーザーやゲストが利用できる機能に関する確認画面が表示された場合は「OK」をタップしてください。「次回以降表示しない」にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

✓お知らせ

- 予約した時刻が近づくと、ステータスバーに [] / [] と予約通知が表示され、アラーム音や振動などでお知らせします。
- 予約した時刻に電源を切っている場合は、予約を実行できません。
- 手動で録画を行っている際に別の予約録画の開始時刻になった場合は、現在の録画を終了して予約録画を開始します。
- 操作2で「番組表から」を選択したときにアプリの更新画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

- ユーザーやゲストが利用できる機能を利用している場合、所有者以外に切り替えているときは視聴予約／録画予約を使用できません。また、所有者以外に切り替えたまま予約時刻になると、予約が実行されません。

◆ 予約内容の確認

予約内容の確認をします。

1 テレビ視聴画面で [録画／視聴予約]

予約一覧が表示されます。

2 予約項目をタップ

- 予約一覧画面で予約をロングタッチ→「編集」をタップすると、予約内容を編集できます。
- 予約一覧画面で予約をロングタッチ→「削除」→「はい」をタップすると予約を1件削除できます。

◆ 予約失敗結果の確認

予約が失敗した場合に予約結果の詳細を確認します。

1 テレビ視聴画面で [録画／視聴予約] → [予約失敗一覧]

予約失敗一覧が表示されます。

2 予約結果項目をタップ

- 予約失敗一覧画面で予約結果をロングタッチ→「削除」→「はい」をタップすると予約結果を1件削除できます。

◆ 番組の録画

テレビ視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画します。

本体とmicroSDカードにそれぞれ99件まで録画できます。なお、ワンセグはmicroSDカードには保存できません。

- ・テレビ番組の録画保存先は、[フルセグ録画設定]で変更できます。→P101

1 テレビ視聴画面でテレビ視聴エリアをタップ

コントローラーが表示されます。

2 ■(録画開始)

録画を開始します。

3 テレビ視聴画面でテレビ視聴エリアをタップ

4 □(録画終了)

録画を終了します。

✓お知らせ

- ・録画するテレビ番組をmicroSDカードに保存する場合は、あらかじめ本端末でフォーマットしたmicroSDカードを使用してください。→P140

- ・録画を開始するのに必要な本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量は、フルセグの場合は38MB以上、ワンセグの場合は1MB以上です。また、必要な電池残量は11%以上です（充電中は電池残量に関わらず、録画の開始ができます）。

- ・フルセグ／ワンセグの録画中に次の状態になると、録画が自動で停止します。

- 本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量がフルセグは19MB以下、ワンセグは0.5MB以下

- 電池残量が10%以下

- ワンセグの録画容量が2GB（約600分）

- ・録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。メールに添付することはできません。

- ・受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。

- ・録画中は、チャンネルの切り替えや、フルセグ／ワンセグの視聴モードの切り替えはできません。

- ・録画とMTP転送など、負荷が大きな機能を同時に使用すると、正常に録画できない場合があります。

- ・録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの受信状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。

- ・録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了することがあります。

❖ 録画番組の再生

1 テレビ視聴画面で■→[録画ファイルリスト]

録画一覧画面が表示されます。

- ・録画一覧画面で「本体」／「MICROSD」をタップすると、保存先の表示を切り替えられます。